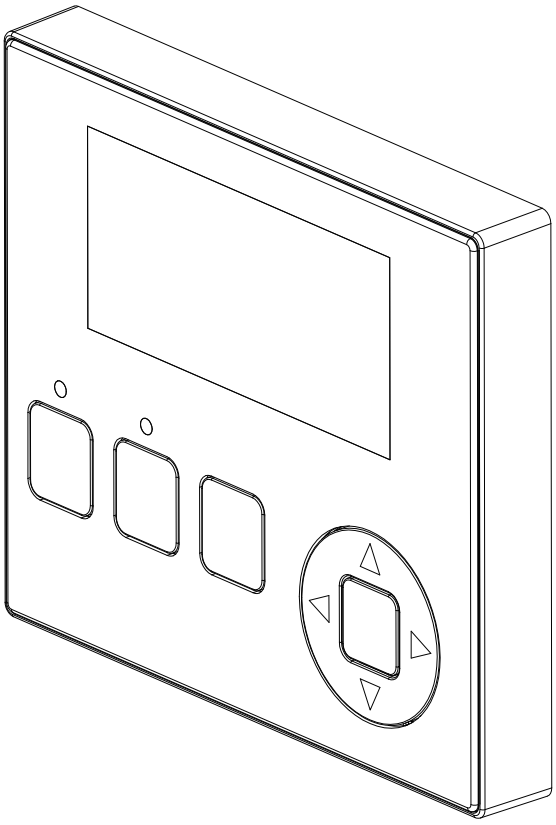
EneTelus

V2Hユニット用音声モニタ

アドボイス
AdVoice®

型名
ZDIS-35ENBV01
V2Hユニット「EIBS Va-1（アイビス・ブイエーワン）」と組み合わせた場合

取扱説明書



このたびはダイヤゼブラ電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧になれるよう、お客様で大切に保管してください。

簡易参照ガイド

V2Hユニットの操作方法 …… 17
自立運転について（停電時） …… 21
こんなときは…… 35

車両搭載蓄電池を活用した暮らしへ

車両への充電、車両からご家庭への電力供給ができます

商用電源(系統)に接続し車両へ充電を行います。また、車両から家庭で使用している電気機器に電力供給を行います。
車両からの放電電力が家庭内の電気機器の消費電力より少ないとき、不足分は商用電源から補われます。
車両からの放電電力の逆潮流を検出すると、車両からの放電を抑制します。

生活スタイルに合わせたシステムモードが選べます ▶31ページ

■ノーマルモード
電力量料金単価が安い時間帯に商用電源から充電し、通常料金時間帯に車両に蓄えた電力を放電することで商用電源のピーク抑制を行います。

■節エネモード
車両に蓄えた電力を放電することで、商用電源からの買電量を低減します。

■蓄電モード
停電に備えて、車両を常に満充電にしておくことができます。

■スマートモード
通常料金時間帯は車両からの放電を行い、電力量料金単価が安い時間帯に商用電源から充電することで、商用電源からの電力量料金を低減します。

■インテリジェントモード
家庭内の電力使用量についてインターネット回線を使用しCloud上でAIが管理分析を行い、AIが日々の使用電力を予測、学習することで電力を賢く使用します。
※V2HユニットをV2Xモードに設定すると、システムモードに応じた充放電を行います。
※インテリジェント（AI）モードをご使用いただくには、別途enenowaサービスへの加入が必要となります。

停電時には、車両電力による自立運転を行うことができます

自立運転について ▶21ページ

商用電源が停電した場合、車両電力による自立運転を行うことができます。
（手動による自立運転開始操作が必要です。）
自立運転について（停電時）（21ページ）をご確認のうえ、ご使用ください。

V2Hユニットのモードが選べます ▶17ページ

■充電モード
車両が満充電になるまで充電を行うモードです。車両が満充電になるとV2Hユニットは自動的に待機状態になります。放電非対応の車両を接続した場合、設定した電力で充電を行います。

■V2Xモード
車両を蓄電池として利用するモードです。
放電非対応の車両を接続した場合は、V2Xモードでの動作は行えません。

目次

はじめに…… 4
- 各部の名前 …… 4
- 画面一覧 …… 6

運転時の状態について…… 16
- ■抑制運転などについて …… 16
- ■商用電源が停電した場合 …… 16
- ■お知らせがある場合 …… 16

V2Hユニットの操作方法 …… 17
- ■各部の名称 …… 17
- ■内部状態 …… 18
- ■V2Hユニット操作方法 …… 19

自立運転について（停電時） …… 21
- ■停電になったときは …… 21
- ■商用電源が復帰したときは …… 21

その他…… 22
- 停止方法について …… 22
- おやすみ機能について …… 23
- 積算電力量を見る …… 24
- システムの状態を見る …… 26
- 設定 …… 27
- こんなときは …… 35
- 仕様 …… 40

はじめに

- 本書は音声モニタの取扱説明書です。音声モニタはV2Hユニット（パワーコンディショナ）のコントローラとして使用することができます。V2Hユニット（パワーコンディショナ）全体の動き等については、V2Hユニットの取扱説明書をご確認ください。
- 音声モニタが音声で案内する事項は本書では次の記載をしています。

各部の名前

■ 音声モニタ

●状態表示ランプ
ランプが点灯（点滅）してV2Hユニットの運転状態を示します。
緑点灯：連系運転中
橙点灯：自立運転中
緑点滅：連系準備中 または
　　自立準備中
橙点滅：要点検
消　灯：手動停止中 または
　　電源なし

●モニタ部
ホーム画面やその他の画面を表示します。操作ボタン、決定ボタンを押して操作をしてください。（モニタの画面を押しても動作しません）モニタの画面が消えているときにいずれかのボタンを押すとホーム画面を表示します。

●操作（∧∨<>）ボタン
各画面で三角マークが表示されているときに押すと、表示切り替えやページ切り替えをします。
メニュー画面で三角マークが表示されているときに押すと、機能を切り替えます。

●運転／停止ボタン
V2Hユニットの運転状態（運転/停止）を切り替えるシステム運転/停止設定画面を表示します。

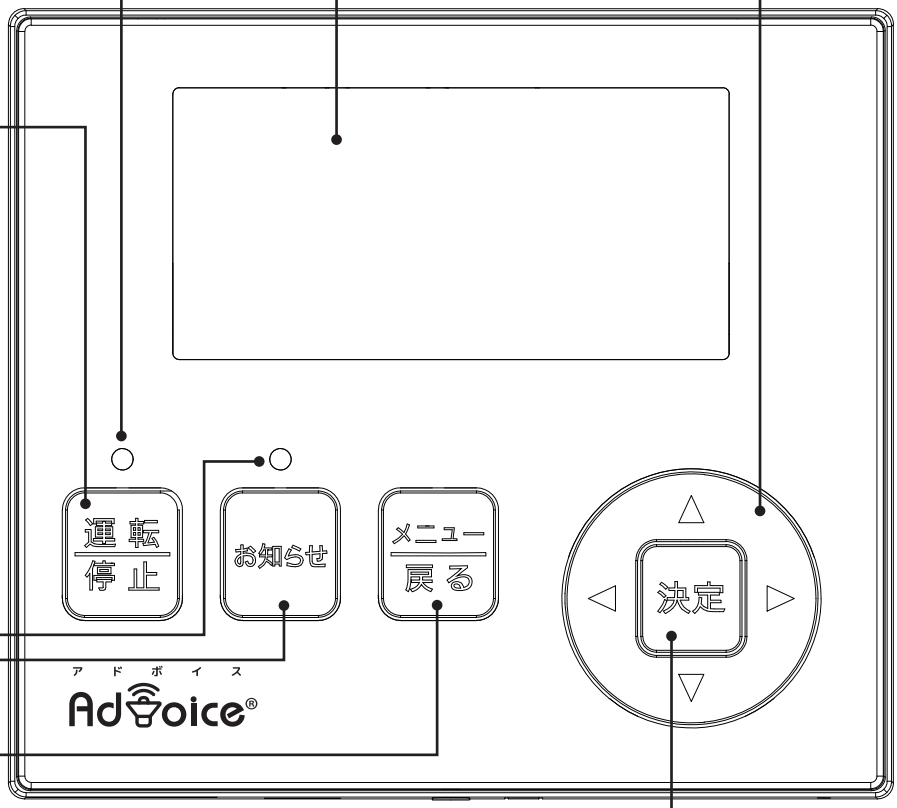
●お知らせランプ
ランプが点灯（点滅）してメッセージの状態を示します。
赤点滅：未読メッセージあり
赤点灯：メッセージがすべて既読
消　灯：メッセージなし

●お知らせボタン
お知らせするメッセージがある場合に押すと、詳細メッセージを表示します。音声案内が流れている間に押すと、音声を停止してメッセージを表示します。
長押しすると、おやすみ機能のオン／オフを切り替えます。

●メニュー／戻るボタン
ホーム画面で押すとメニュー画面を表示します。メニュー画面やその他の画面で押すと一つ前へ戻ります。

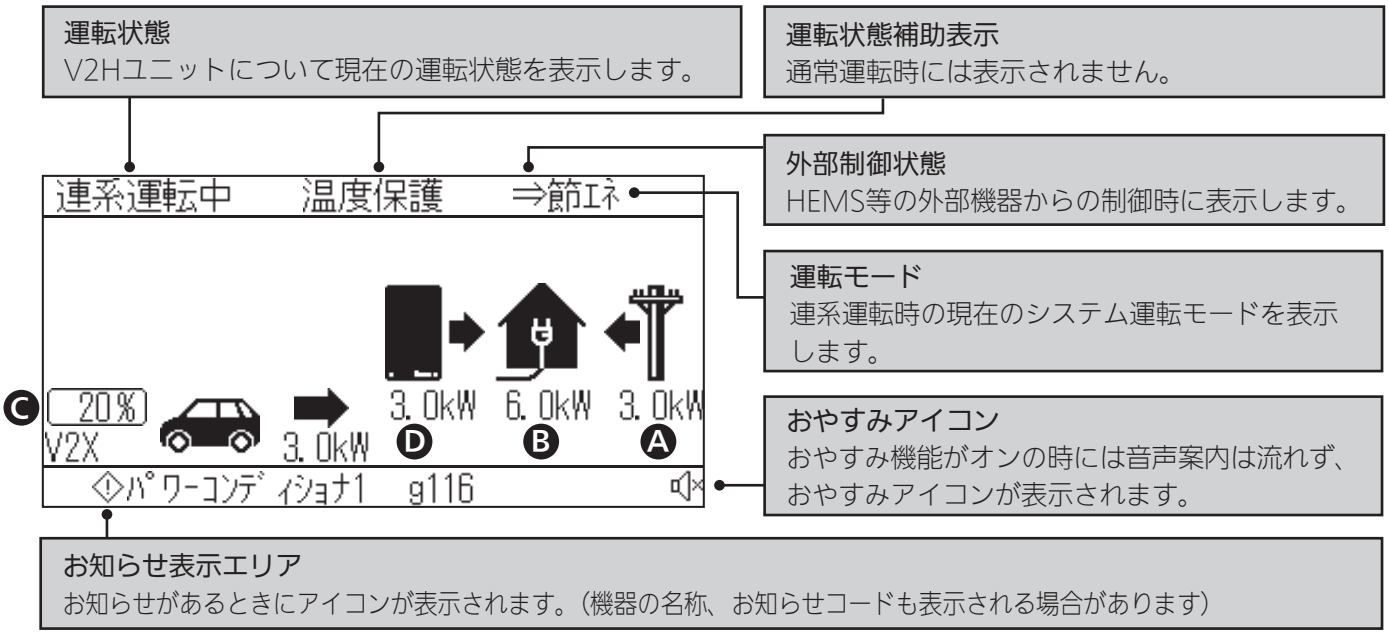
●決定ボタン
メニュー画面やその他の画面で押すと、操作ボタンで選択した機能を実行します。

●リセットボタン（本体底面）
音声モニタの再起動を行います。



●ホーム画面の表示
ホーム画面は、V2Hユニット運転中の基本画面です。

ご注意 V2Hユニットに接続している車両の蓄電池残量表示は、ある程度の誤差を含みます。充電／放電量の目安としてご活用ください。（本製品は、計量法の対象ではありません）



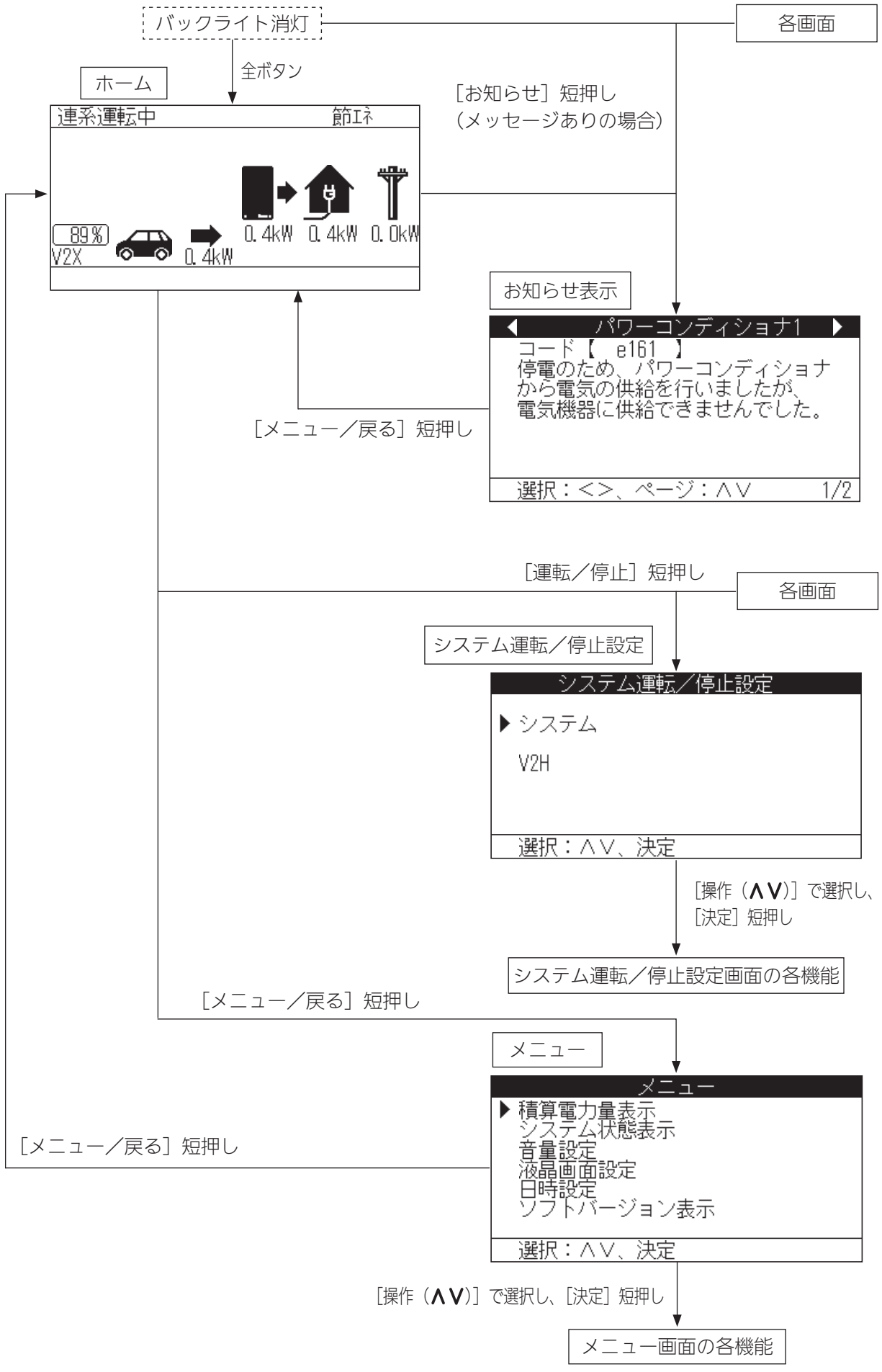
Ⓐ	商用電源から買電しているときは左方向の矢印、外部発電機から売電しているときは右方向の矢印を表示します。
Ⓑ	現在、家庭内で使用している電力を表示します。
Ⓒ	V2Hユニットに接続している車両の蓄電池残量と、V2Hユニットの制御モード、V2Hユニットからの充電／放電電力を表示します。 充電時は左方向の矢印、放電時は右方向の矢印、充電／放電を停止しているときは矢印なしで表示されます。
Ⓓ	V2HユニットAC側の入出力電力を表示します。 V2Hユニットへの入力時は左方向の矢印、V2Hユニットからの出力時は右方向の矢印を表示します。

システムの状態に応じて以下のように表示します。

運転状態	運転状態補助	外部制御状態	運転モード
「連系準備中」、 「連系運転中」、 「自立準備中」、 「自立運転中」、 「手動停止中」、 「要点検」、 「通信待機中」※4	「温度保護」	HEMS等の外部機器から制御されているときは、矢印が表示されます。 ※1	「ノーマル」・・ノーマルモード 「節エネ」・・・節エネモード 「スマート」・・スマートモード 「AI」・・・・・・インテリジェントモード　※6 「蓄電」・・・・・蓄電モード 「空白」・・・・・充電指示　※2 「待機」・・・・・待機指示 ※2，5 「充電」・・・・・充電モード　※3 「放電」・・・・・放電モード　※3 「補充」・・・・・補充充電モード　※3 「余充」・・・・・余剰充電モード　※3 「負放」・・・・・負荷追従放電モード　※3

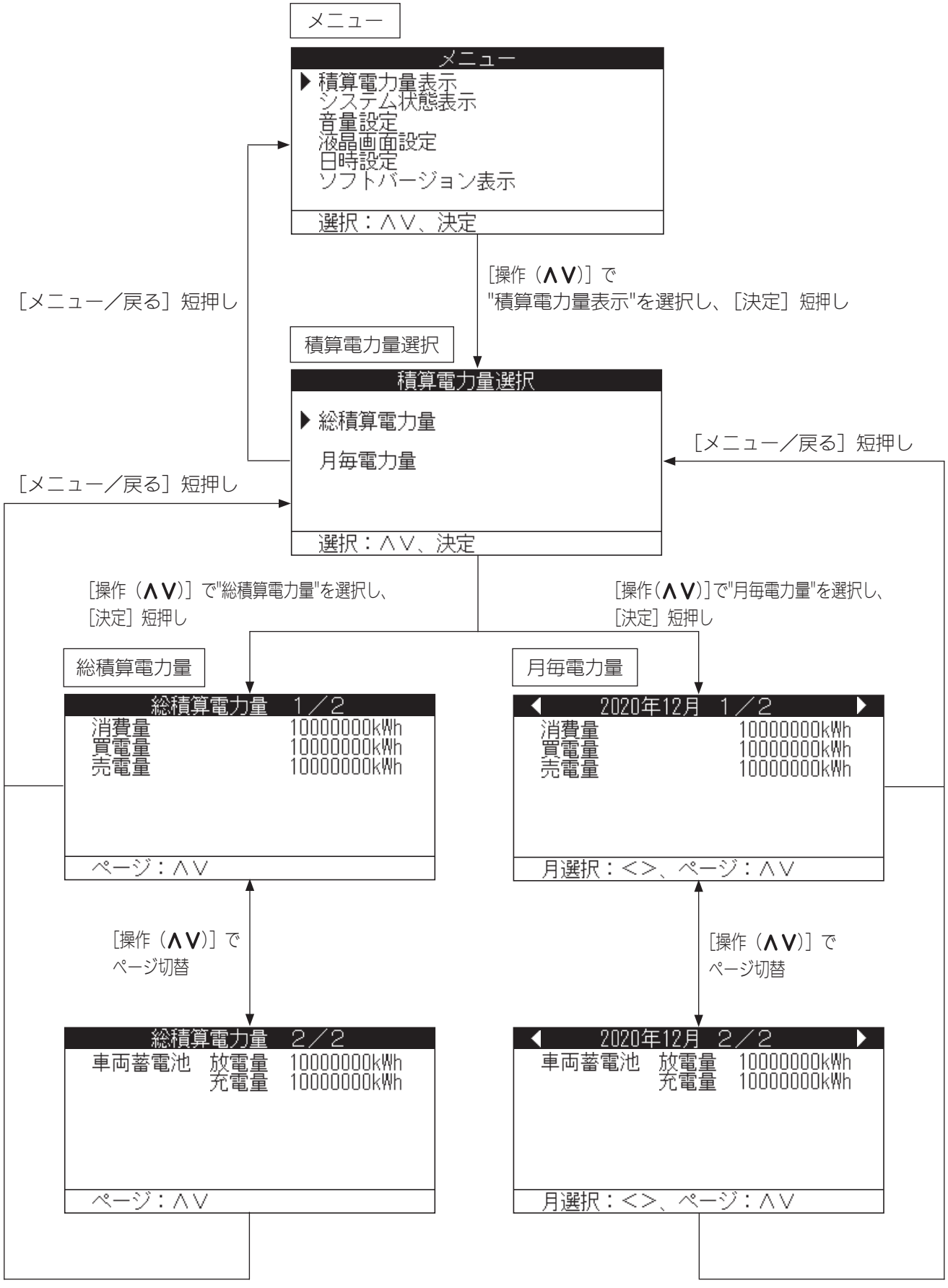
※1 施工時に「HEMSあり」または「HEMS専用」に設定した場合、HEMS等の外部機器からの制御が可能です。HEMSに関する設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
※2 V2Xモード設定から車両蓄電池の残量目標を5～100%に設定しているとき、指示状況に応じて表示されます。
※3 外部制御からのみ設定可能です。
※4 V2Hユニット（パワーコンディショナ）からの応答待ちです。
※5 外部制御から待機モードに設定された時も表示されます。
※6 enenowaサービスに加入していない方はご使用できません。

画面一覧（ホーム画面からの遷移）

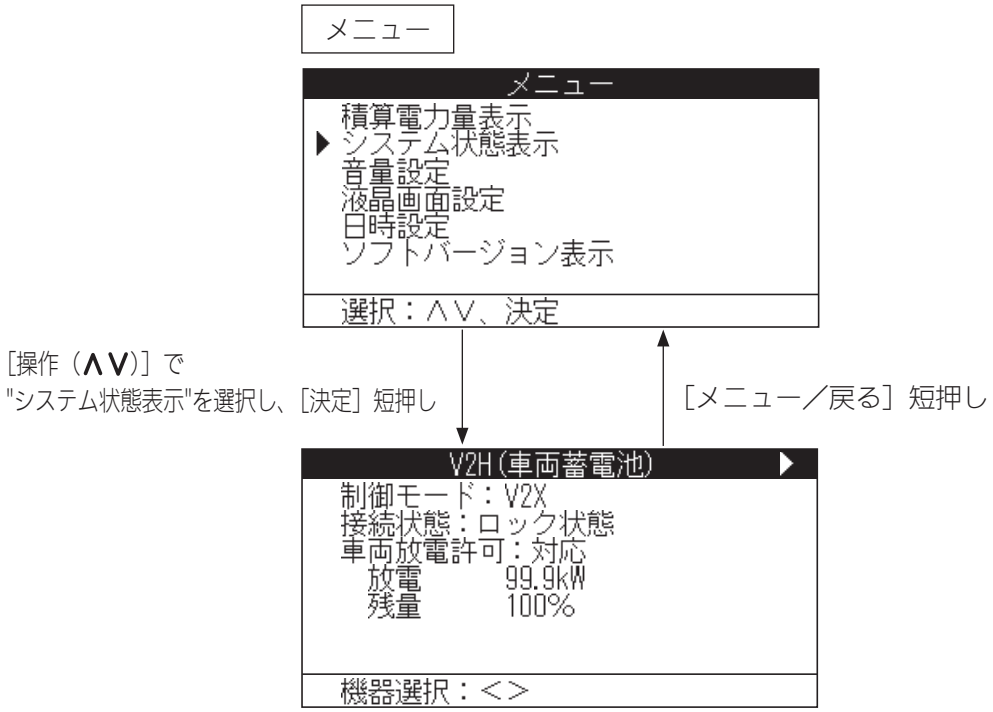


画面一覧（メニュー画面の各機能）

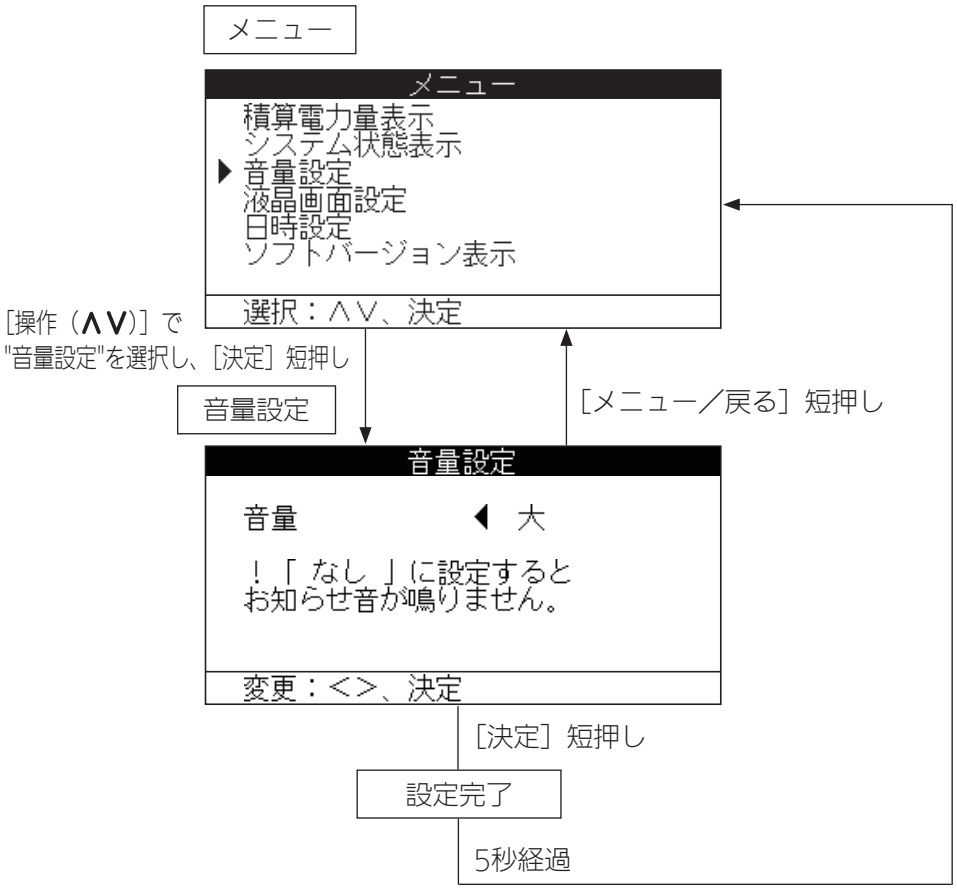
1．積算電力量選択



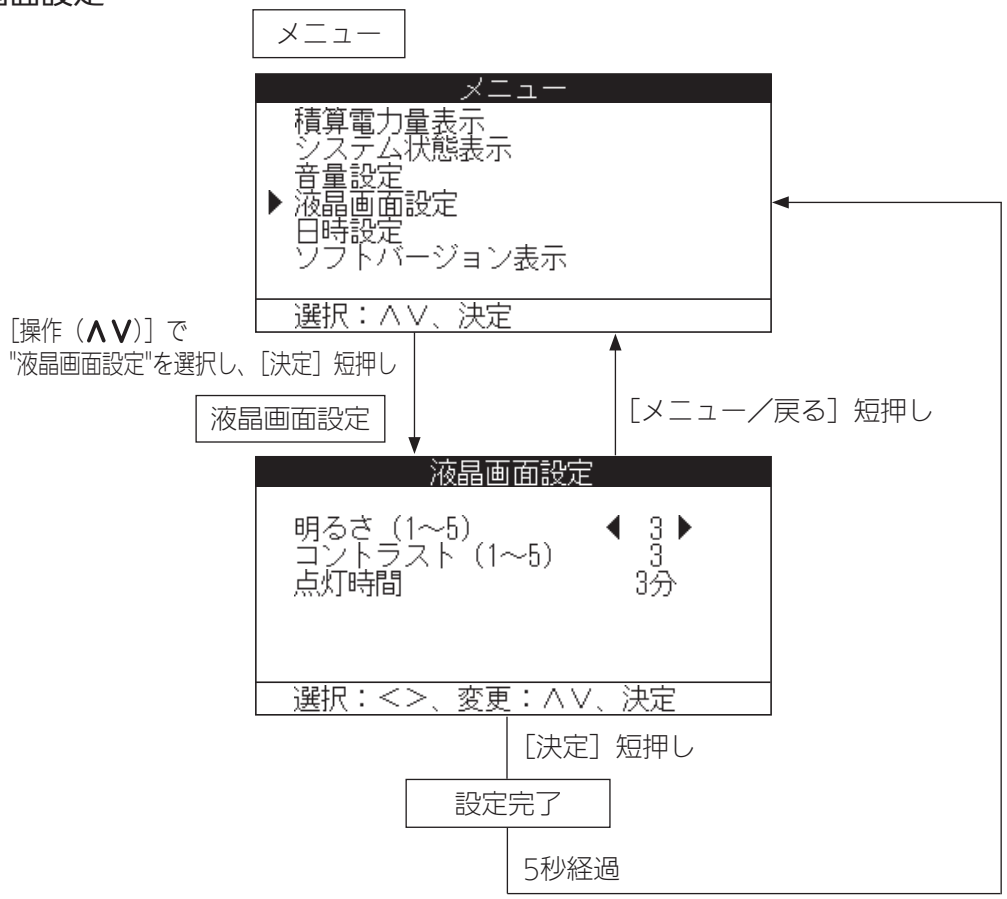
2．システム状態表示



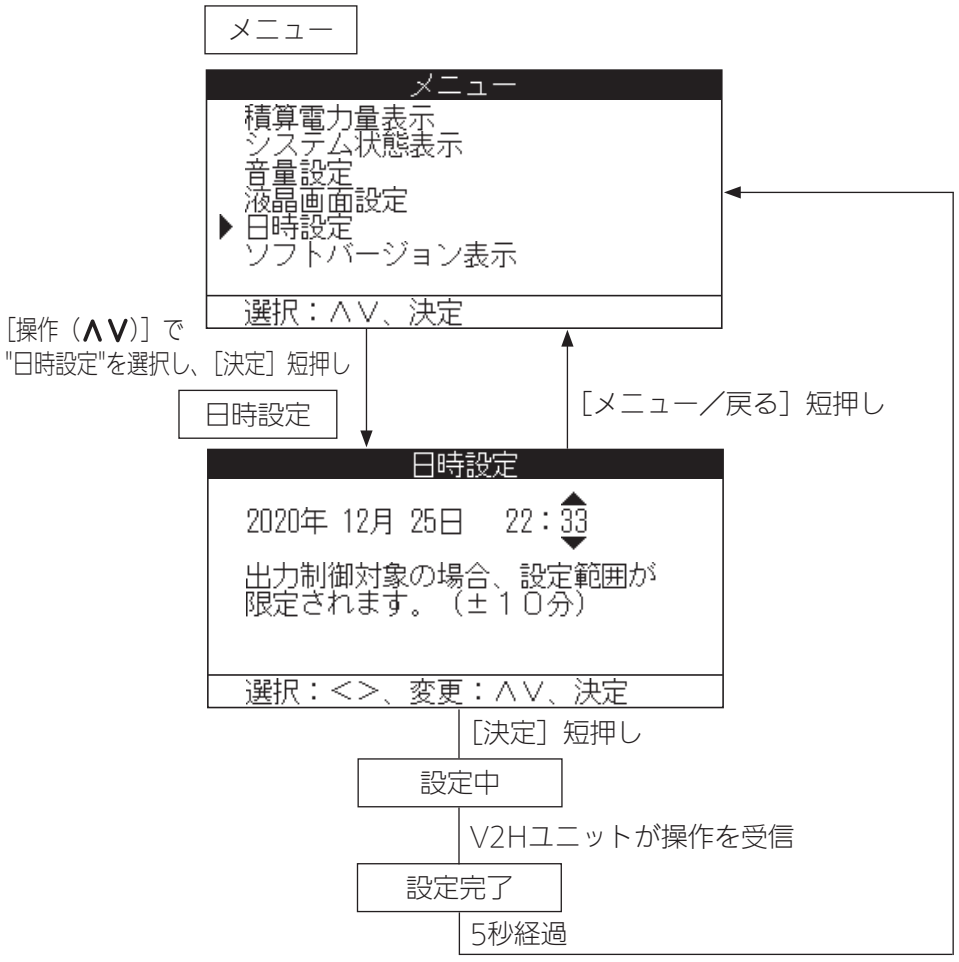
3．音量設定



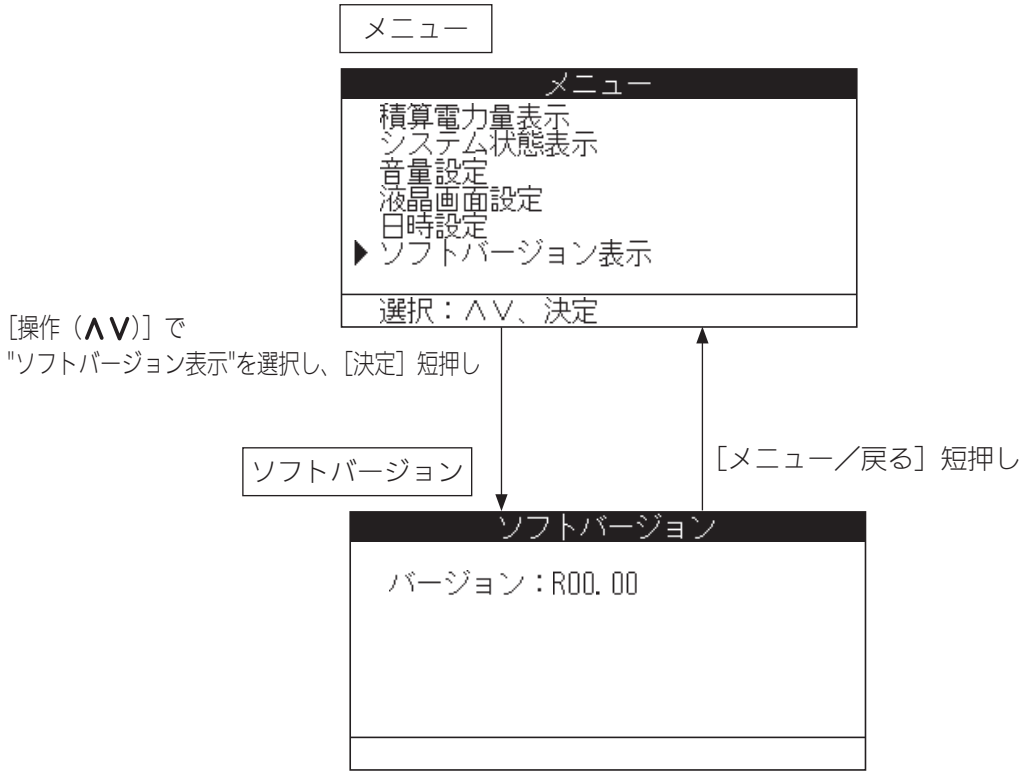
4．液晶画面設定



5．日時設定

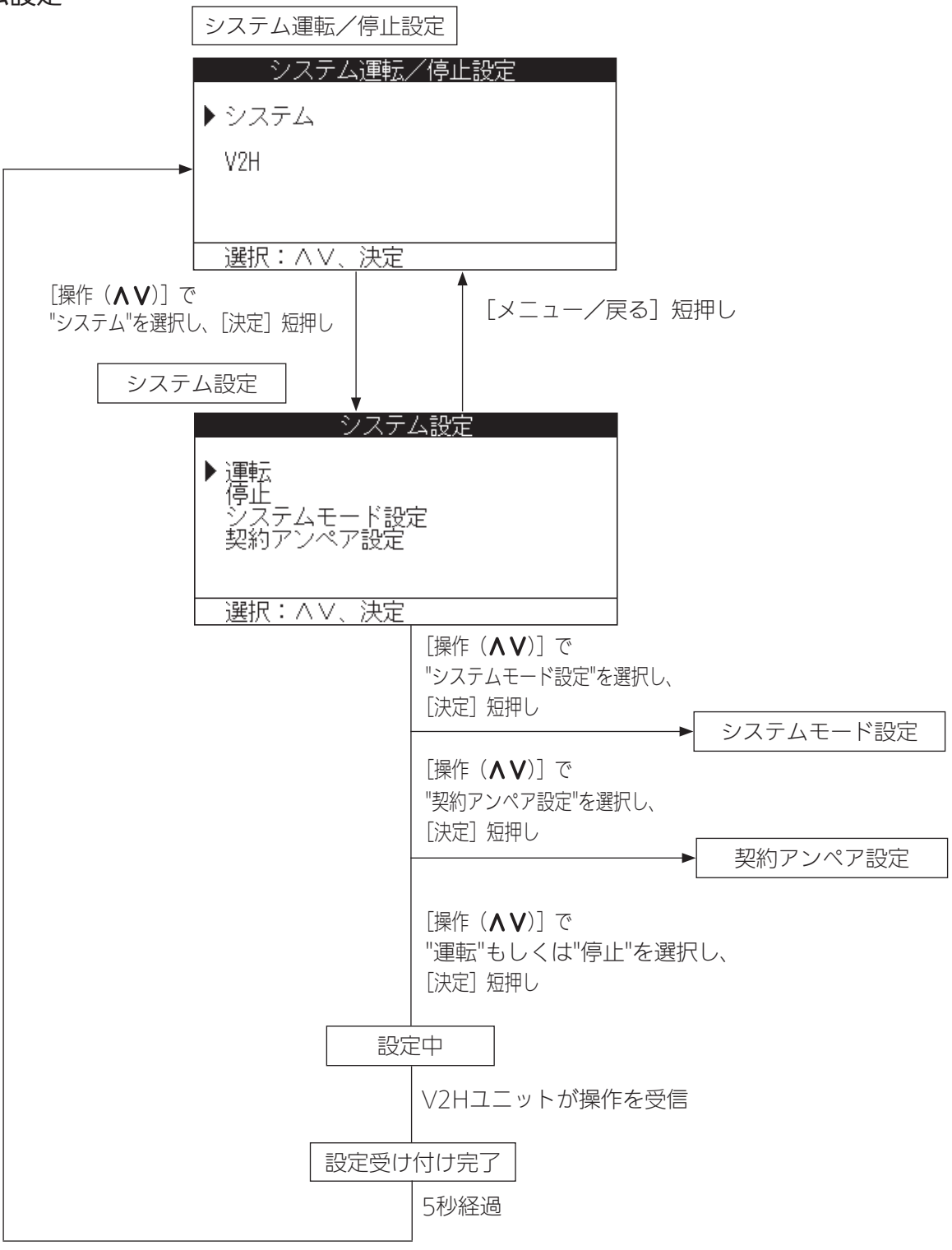


6．ソフトバージョン表示

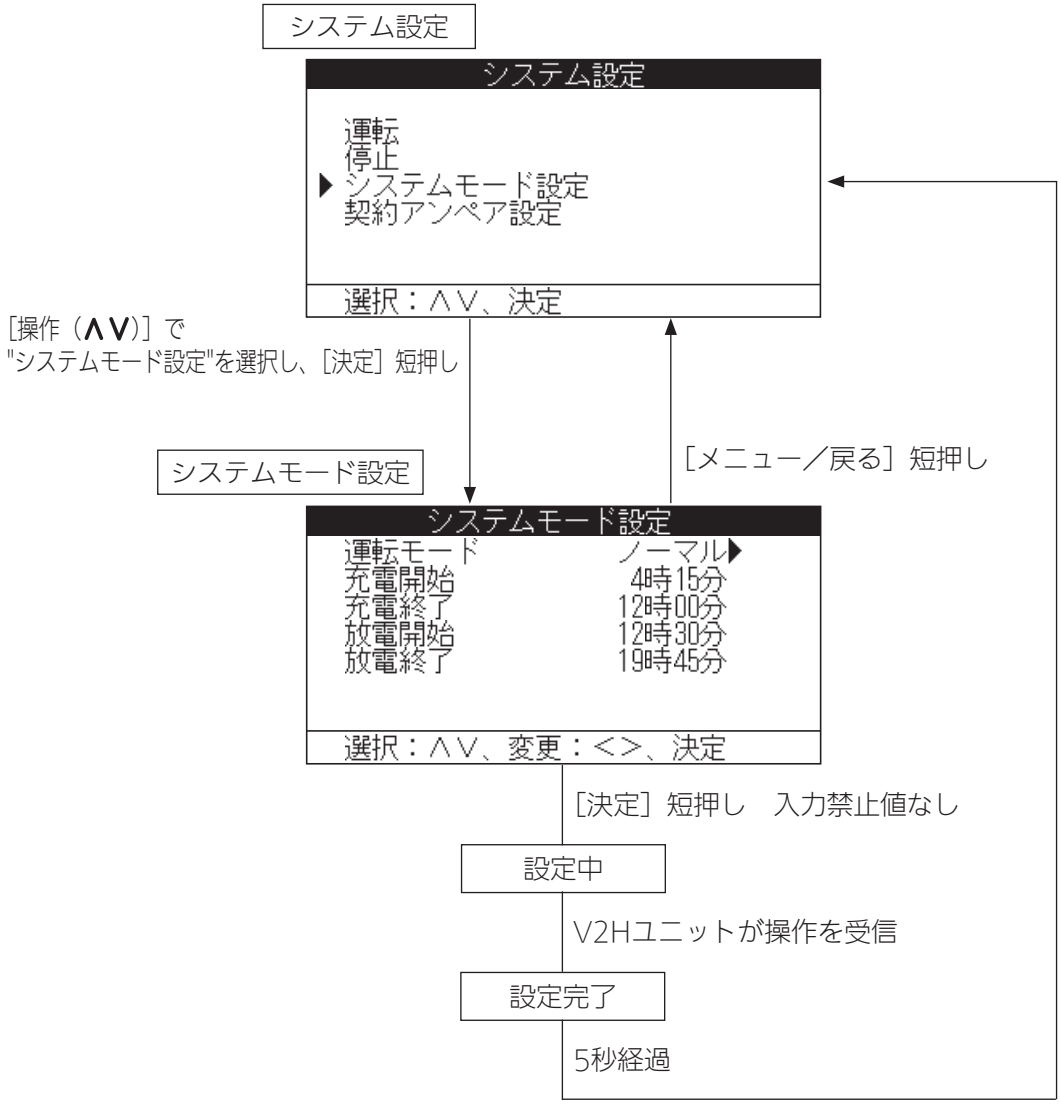


画面一覧（システム運転／停止設定の各機能）

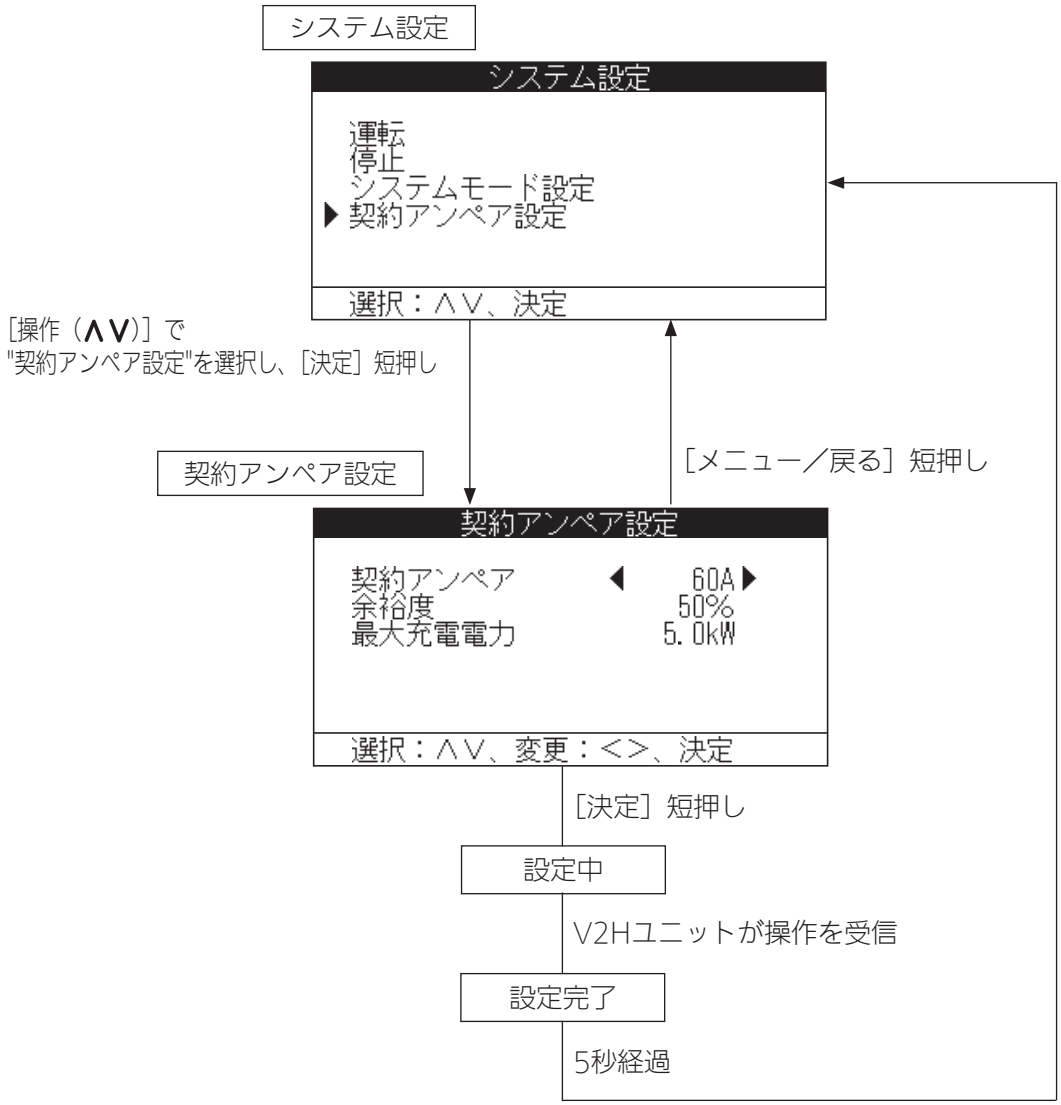
1．システム設定



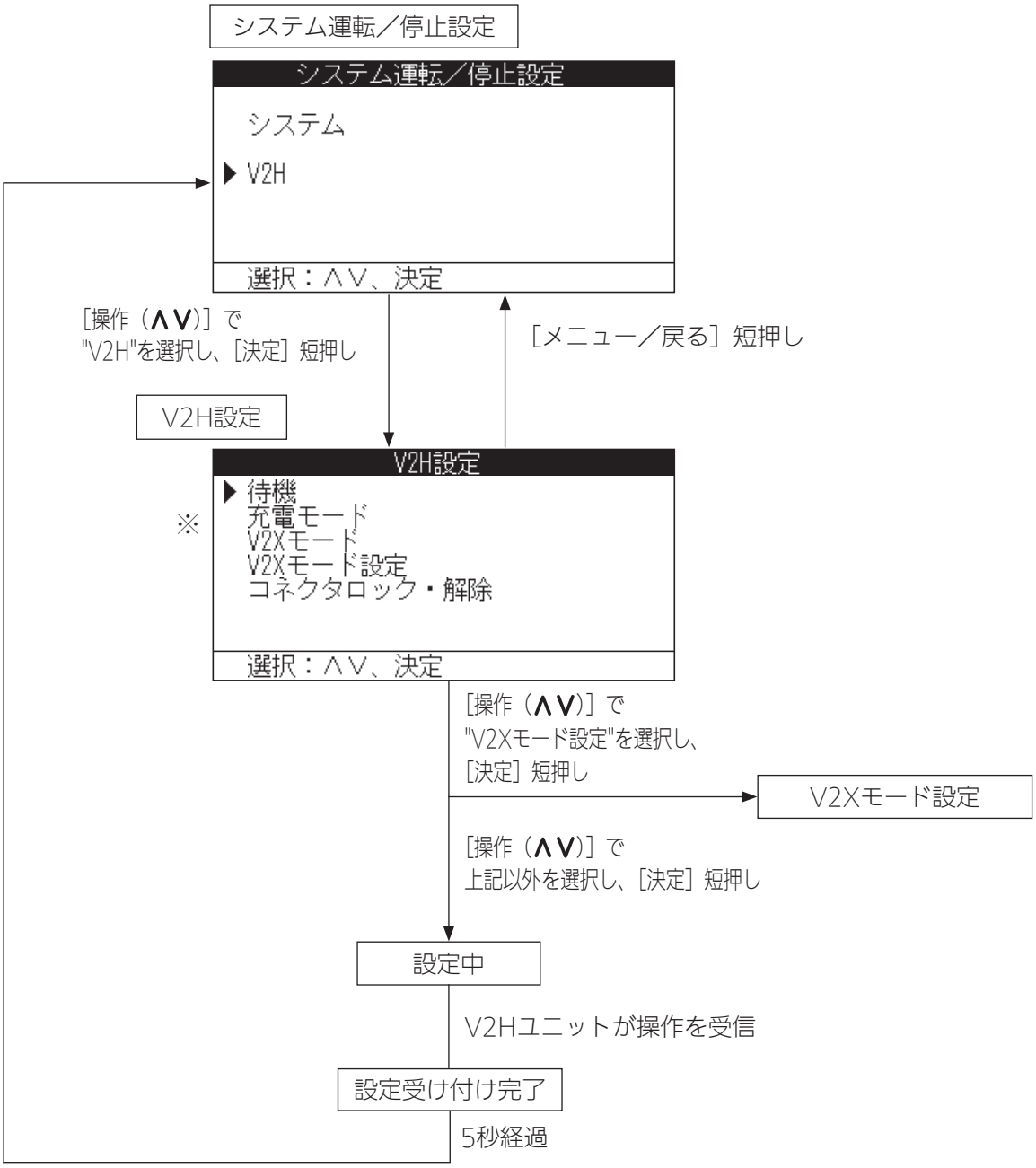
2．システムモード設定


システム設定
システム設定
運転
停止
▶システムモード設定
契約アンペア設定
選択：∧∨、決定
［操作（∧∨）］で
"システムモード設定"を選択し、［決定］短押し
［メニュー／戻る］短押し
システムモード設定
システムモード設定
運転モード　ノーマル▶
充電開始　4時15分
充電終了　12時00分
放電開始　12時30分
放電終了　19時45分
選択：∧∨、変更：<>、決定
［決定］短押し　入力禁止値なし
設定中
V2Hユニットが操作を受信
設定完了
5秒経過

3．契約アンペア設定

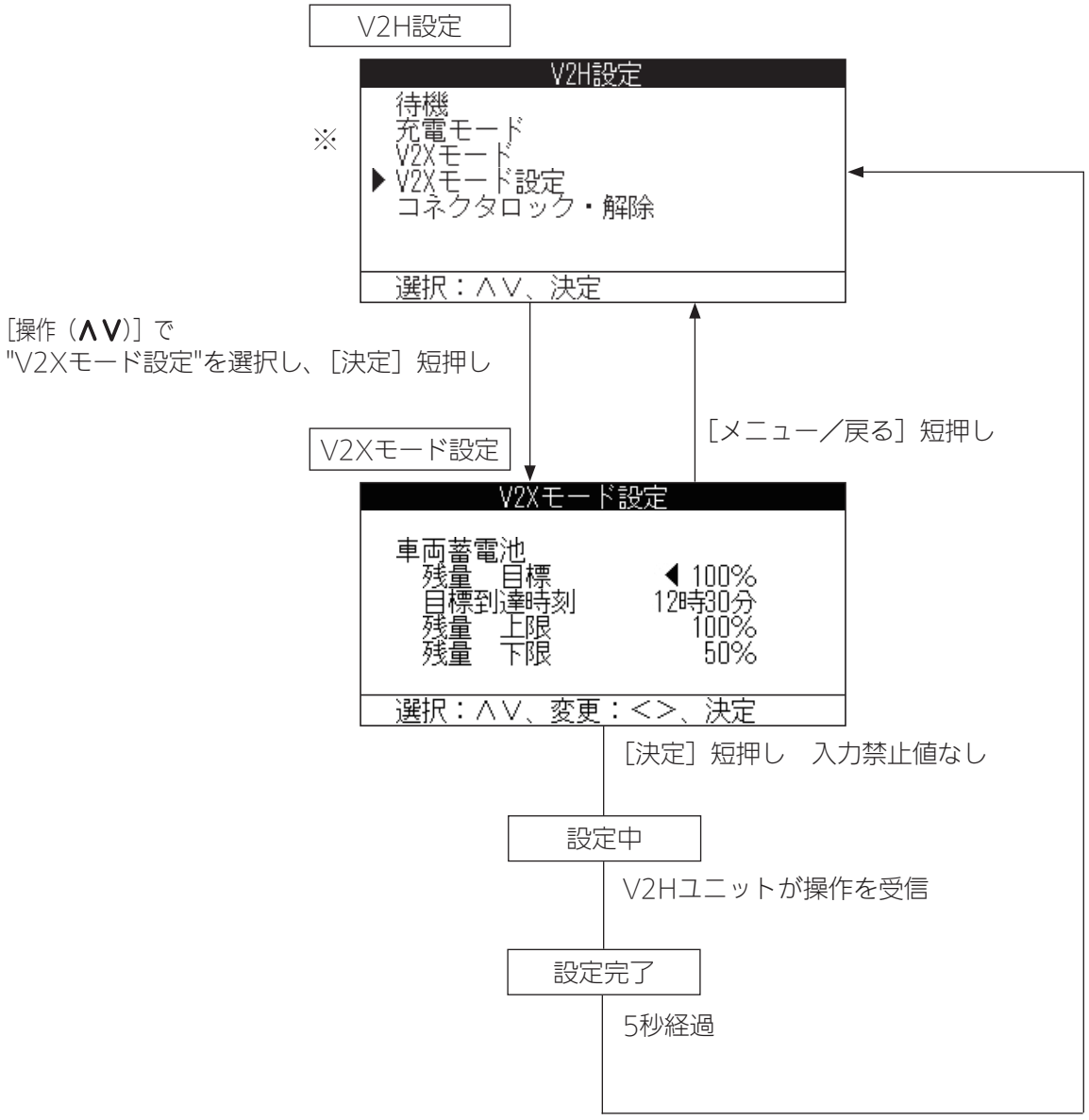

システム設定
システム設定
運転
停止
システムモード設定
契約アンペア設定
選択：∧∨、決定
［操作（∧∨）］で
"契約アンペア設定"を選択し、［決定］短押し
契約アンペア設定
［メニュー／戻る］短押し
契約アンペア設定
契約アンペア
60A
余裕度
50%
最大充電電力
5.0kW
選択：∧∨、変更：<>、決定
［決定］短押し
設定中
V2Hユニットが操作を受信
設定完了
5秒経過

4．Ｖ２Ｈ設定



※ 表示項目は条件により変化します。（18ページ）

5．V2Xモード設定



※ 表示項目は条件により変化します。（18ページ）

運転時の状態について

■ 温度保護について

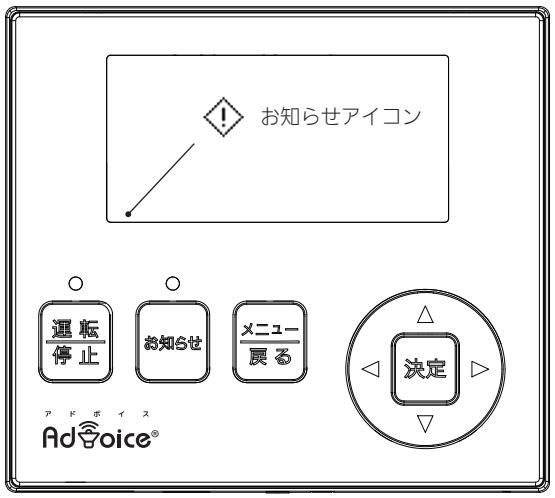
「温度保護」が表示されたら
V2Hユニットの内部温度が高くなりすぎると、機器に悪影響を与えます。V2Hユニットの内部の温度上昇を防ぐため、「温度保護」を表示して、出力電力を一時的に抑えます。温度が正常運転範囲に戻ると出力の抑制が解除され、表示は消えます。
⇒「温度保護」が頻繁に表示されたり、長時間消えない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 商用電源が停電した場合

商用電源が停電したとき、V2Hユニットは出力を停止します。
停電発生時に、自動的に家庭内に車両電池の電力には切り替わりません。
車両電池の電力を供給する場合は、ブラックスタート操作が必要となります。
（V2Hユニットの取扱説明書をご参照下さい。）
また、家庭内にV2Hユニットの電力を供給する際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照下さい。
電源切替ボックスを併設せず、特定の非常用コンセントをご使用の場合、非常用コンセントに電力が供給されます。
使用可能なコンセント数は1口のみで、最大出力は1.5kVAとなります。
（詳細は、販売店にお問合せ下さい）

■ お知らせがある場合

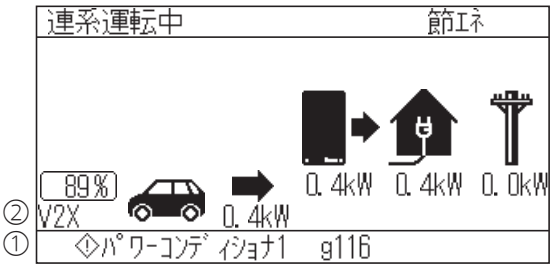
お知らせがある場合、音声モニタの［お知らせ］ランプ（赤色）が点灯もしくは点滅し、モニタのホーム画面のお知らせ表示エリアにお知らせアイコンも表示されます。このとき、［お知らせ］ボタンを押すとメッセージが表示されます。メッセージが複数ある場合は［操作（**<>**）］ボタンで、表示させるメッセージを選択できます。
「こんなときは」（35ページ）を参照し、対応してください。



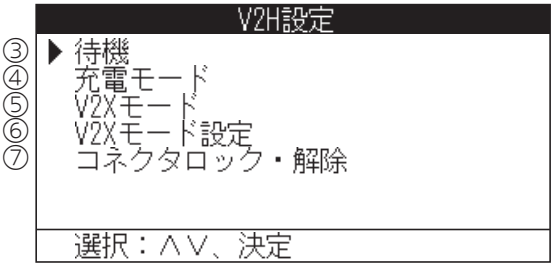
V2Hユニットの操作方法

■各部の名称

<ホーム画面>



<V2H設定画面>



システム運転／停止設定画面

<V2H設定画面の項目表示条件>

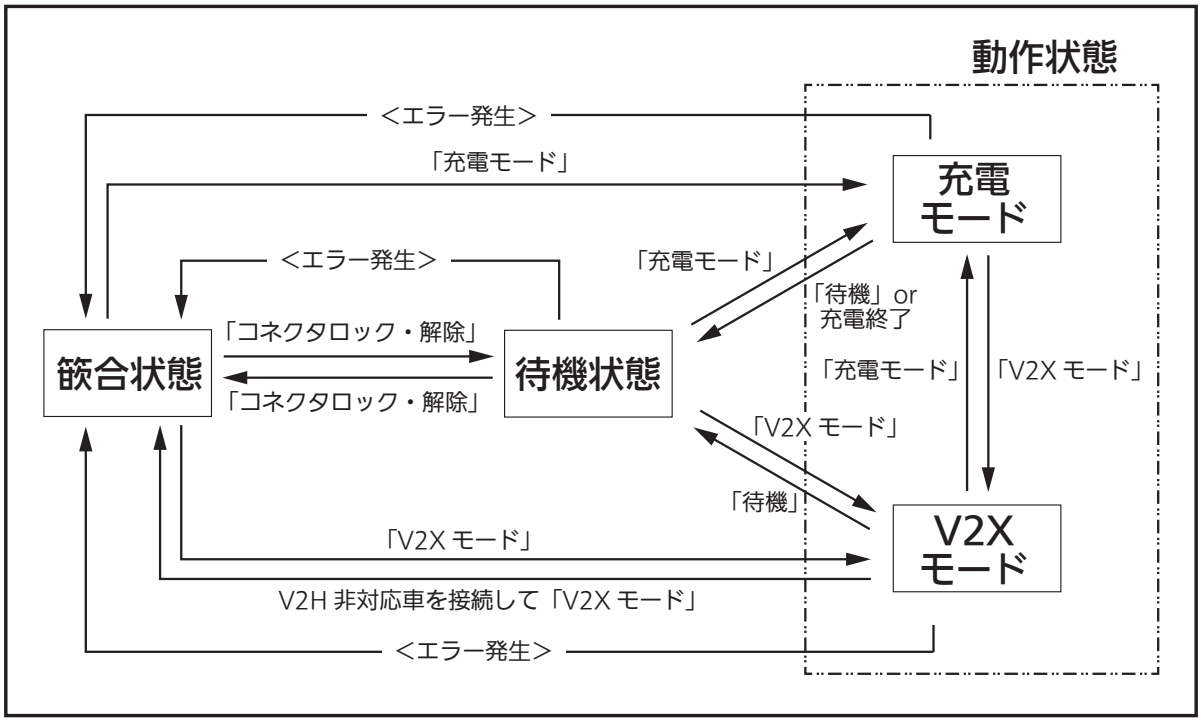
表示項目＼内部状態	自立運転以外のとき				自立運転のとき			
	嵌合状態	待機状態	充電モード	V2Xモード	嵌合状態	待機状態	充電モード	V2Xモード
③待機	×	×	○	○	×	×	○	○
④充電モード	○	○	×	○	×	×	×	×
⑤V2Xモード	○	○	○	×	○	○	○	×
⑥V2Xモード設定	○	○	○	○	×	×	×	×
⑦コネクタロック・解除	○	○	×	×	○	○	×	×

○：V2H設定画面で表示される
×：V2H設定画面で表示されない

名称	備考
<ホーム画面>	システム運転／停止設定画面で[メニュー／戻る]ボタンを押すと表示されます。
① エラー表示	V2Hユニットが何らかの異常を検知した時やV2Hユニットの緊急停止ボタンが押されたときに、エラーコードを表示します。またお知らせランプも点灯または点滅します。
② V2Hユニットの制御モード表示	V2Hユニットの制御モードを表示します。“待機“、”充電“、”V2X“、”未接続“からV2Hユニットの状態に応じていずれかを表示します。（“未接続”には嵌合状態を含みます）
<システム運転／停止設定画面>	ホーム画面で[運転／停止]ボタンを押すと表示されます。またはV2H設定画面で[メニュー／戻る]ボタンを押すと表示されます。
<V2H設定画面>	システム運転／停止設定画面から「V2H」を選択して[決定]ボタンを押すと表示されます。
③ 待機	選択して[決定]ボタンを押すと、待機状態にします。
④ 充電モード	選択して[決定]ボタンを押すと、充電モードにします。
⑤ V2Xモード	選択して[決定]ボタンを押すと、V2Xモードにします。
⑥ V2Xモード設定	選択して[決定]ボタンを押すと、V2Xモード設定画面を表示します。
⑦ コネクタロック・解除	選択して[決定]ボタンを押すと、充放電コネクタと車両が嵌合状態のときにはロックし、待機状態のときにはロック解除します。

V2Hユニットの操作方法（つづき）

■ 内部状態



嵌合状態

・待機状態でエラーが発生する、または「コネクタロック・解除」を選択して[決定]ボタンを押すと嵌合状態になります。
充電モードまたはV2Xモードでエラーが発生すると嵌合状態になります。
・充放電コネクタを車両へ接続しており、コネクタロックされていないので抜き差しができる状態です。
・「コネクタロック・解除」を選択して[決定]ボタンを押すことで待機状態に、
「充電モード」を選択して[決定]ボタンを押すことで充電モードに、
「V2Xモード」を選択して[決定]ボタンを押すことでV2Xモードになります。
・ホーム画面の制御モードは"未接続"と表示されます。

待機状態

・嵌合状態で「コネクタロック・解除」、充電モード/V2Xモードで「待機」を選択して[決定]ボタンを押すと待機状態になります。
・充放電コネクタを車両へ接続しており、コネクタロックされているので抜き差しができない状態です。
・エラーが発生する、または「コネクタロック・解除」を選択して[決定]ボタンを押すことで嵌合状態に、
「充電モード」を選択して[決定]ボタンを押すことで充電モードに、
「V2Xモード」を選択して[決定]ボタンを押すことでV2Xモードになります。
・ホーム画面の制御モードは"待機"と表示されます。

充電モード

・嵌合状態/待機状態/V2Xモードで「充電モード」を選択して[決定]ボタンを押すと充電モードになります。
・充放電コネクタを車両へ接続しており、コネクタロックされているので抜き差しができない状態です。
車両が満充電になるまで充電を行う状態で、インテリジェントモードの場合でも充電されます。
・「待機」を選択して[決定]ボタンを押す、または満充電になると待機状態になります。
「V2Xモード」を選択して[決定]ボタンを押すとV2Xモードになります。
エラーが発生すると嵌合状態になります。
・ホーム画面の制御モードは"充電"と表示されます。

V2Xモード

・嵌合状態/待機状態/充電モードで「V2Xモード」を選択して[決定]ボタンを押すとV2Xモードになります。
・充放電コネクタを車両へ接続しており、コネクタロックされているので抜き差しができない状態です。
車両を蓄電池として利用する状態で、お客様の設定しているシステムモード設定とV2Xモード設定に従い充放電を行います。
・「待機」を選択して[決定]ボタンを押すと待機状態になります。
「充電モード」を選択して[決定]ボタンを押すと充電モードになります。
エラーが発生すると嵌合状態になります。
・ホーム画面の制御モードは"V2X"と表示されます。

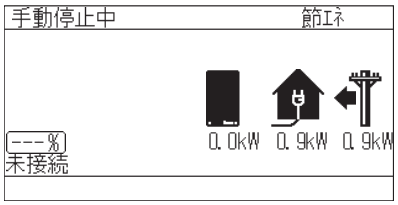
車両との接続方法

車両のシフトポジションをP（パーキング）にし、車両アクセサリがOFFになっていることを確認し完全に車両が停止している状態にしてください。
※車両アクセサリOFFの操作方法は車両により異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

V2Hユニットの操作方法（V2H設定からの操作）

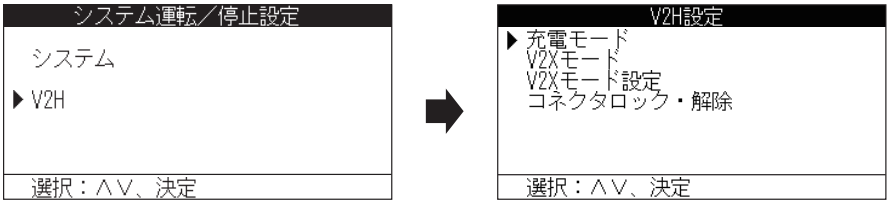
1 充放電コネクタを車両に接続してホーム画面を確認する。

筐合状態ではV2Hユニットの制御モードは ” 未接続” と表示されます。



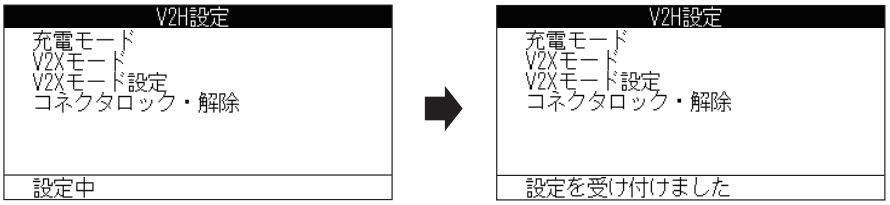
2 V2H設定画面を表示する。

ホーム画面で［運転／停止］ボタンを押す。
システム運転／停止設定画面で「V2H」を選択し、［決定］ボタンを押す。
V2H設定画面が表示されます。



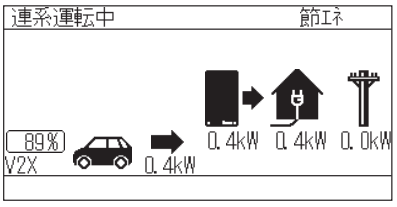
3 充電モードまたはV2Xモードにする。

［操作（**∧∨**）］ボタンで、「充電モード」もしくは「V2Xモード」を選択して［決定］ボタンを押す。
「設定中」と表示された後に、V2Hユニットが操作を受信すると「設定を受け付けました」と表示されます。
5秒後にシステム運転停止設定画面が表示されます。



4 ホームで動作を確認する。

ホーム画面でV2Hユニットの制御モードが ” 充電” もしくは ” V2X” となっていることを確認してください。

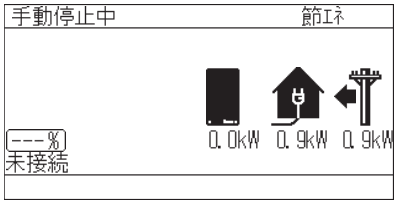


V2Hユニットの操作方法（システム設定からの操作）

システム設定からの運転操作ではV2Xモードでの運転となります。

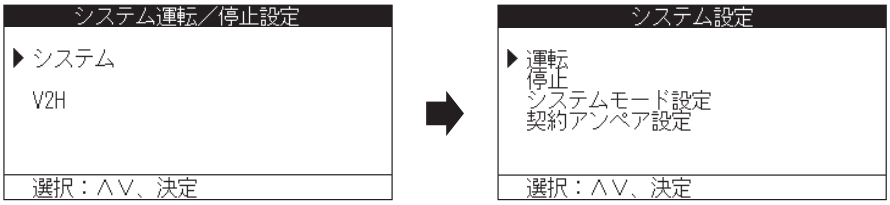
1 充放電コネクタを車両に接続してホーム画面を確認する。

筐合状態ではV2Hユニットの制御モードは ”未接続” と表示されます。



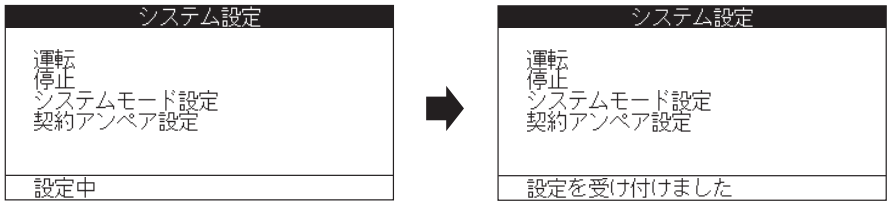
2 システム設定画面を表示する。

［運転／停止］ボタンを押す。
システム運転／停止設定画面で「システム」を選択し、［決定］ボタンを押す。
システム設定画面が表示されます。



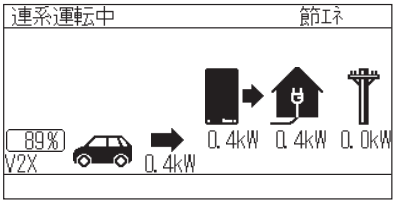
3 運転（V2Xモード）を開始する。

［操作（**∧∨**）］ボタンで、「運転」を選択して［決定］ボタンを押す。
「設定中」と表示された後に、V2Hユニットが操作を受信すると「設定を受け付けました」と表示されます。
5秒後にシステム運転／停止設定画面が表示されます。



4 ホームで動作を確認する。

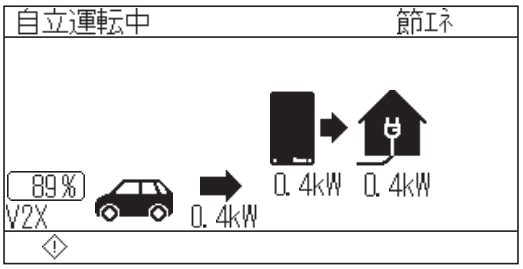
ホーム画面でV2Hユニットの制御モードが ”V2X” となっていることを確認してください。



自立運転について（停電時）

■ 停電になったときは

① 商用電源が停電したとき、V2Hユニットは出力を停止します。
② 電源切替ボックスの操作が必要な際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照ください。
③ 電源切替ボックスを併設せず非常用コンセントをご使用の場合は非常用コンセントに使用したい 電気機器を
つなげてください。
④ V2Hユニットの取扱説明書を参照し自立運転を開始してください。



■ 商用電源が復電したときは

① 商用電源が復電すると、V2Hユニットの自立出力を停止します。
② 電源切替ボックスの操作が必要な際は、電源切替ボックスの取扱説明書をご参照ください。
復電後、電源切替ボックスが切り替わるまで家庭内に電気が供給されません。
③ 電源切替ボックスを併用していない場合は、非常用コンセントにつないでいた電気機器をもとのコンセントに
つなぎ直してください。

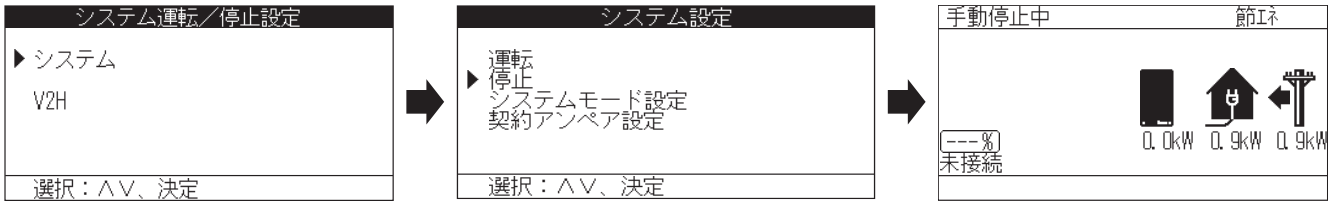
その他

その他の事項について説明します。

停止方法について

■V2Hユニットを停止したい場合

［運転／停止］ボタンを押して、システム運転／停止設定画面を表示させます。［操作（∧∨）］ボタンで「システム」を選択して［決定］ボタンを押すとシステム設定画面が表示されます。
［操作（∧∨）］ボタンで、「停止」を選択して［決定］ボタンを押します。



ご注意
- V2Hユニットの運転を停止しても、待機電力を消費します。
- 住宅分電盤の専用連系ブレーカは長期間OFFにしないでください。

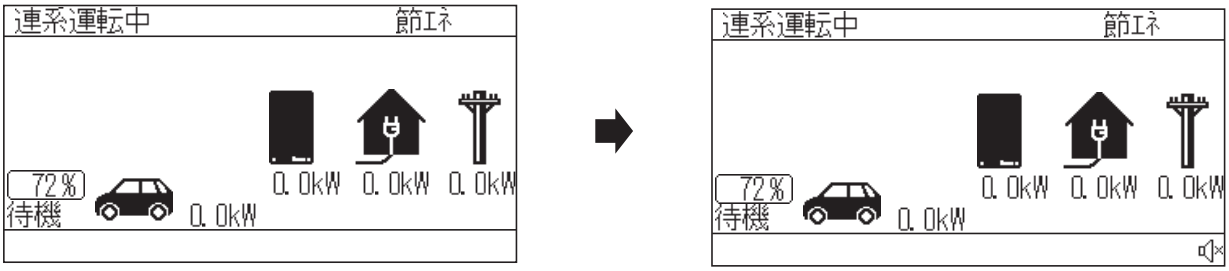
おやすみ機能について

■ おやすみ機能をオンにする

●おやすみ機能とは

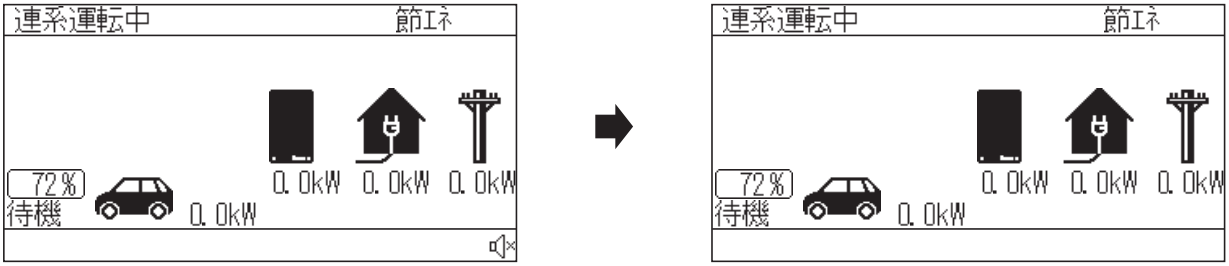
就寝時など、一時的に音声案内を再生しないようにします。
おやすみ機能はオンにしてから7時間後に、自動的にオフになります。（おやすみアイコンは消えます）

おやすみ機能がオフのときホーム画面で［お知らせ］ボタンを長押しすると、モニタ画面右下におやすみアイコンが表示され、おやすみ機能がオンになります。（音声案内あり）



■ おやすみ機能をオフにする

おやすみ機能がオンのときホーム画面で［お知らせ］ボタンを長押しすると、おやすみ機能を手動でオフにすることができます。
（おやすみアイコンは消えます）（音声案内あり）



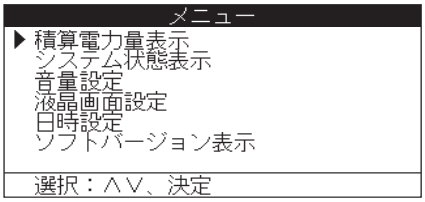
積算電力量を見る

■総積算電力量を見る

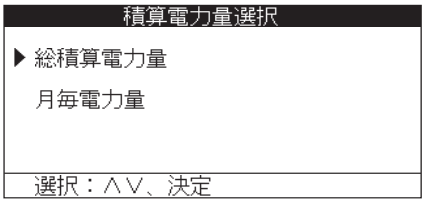
1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「積算電力量表示」を選択し、［決定］ボタンを押す。

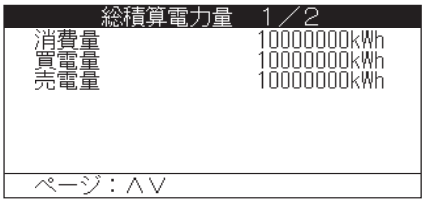


3 ［操作（∧∨）］ボタンで「総積算電力量」を選択し、［決定］ボタンを押す。



4 実績を確認する。

- 以下の項目を表示します。
  ［操作（∧∨）］ボタンでページを選択します。
  - 積算消費電力量
  - 積算買電電力量
  - 積算売電電力量
  - 積算車両蓄電池放電量
  - 積算車両蓄電池充電量



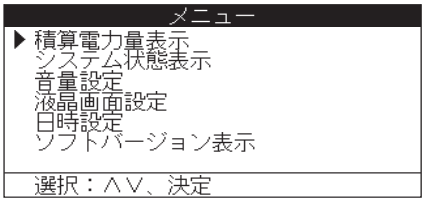


■月毎の電力量を見る

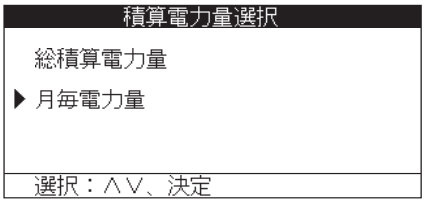
1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「積算電力量表示」を選択し、［決定］ボタンを押す。

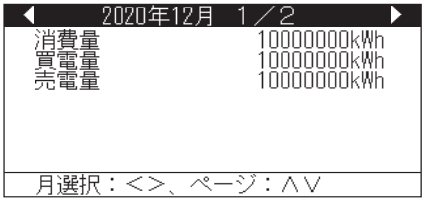


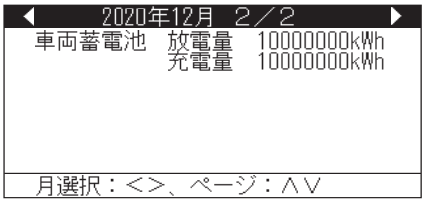
3 ［操作（∧∨）］ボタンで「月毎電力量」を選択し、［決定］ボタンを押す。



4 ［操作（<>）］ボタンで表示したい月を選択する。

- 選択した期間の実績が表示されます。
- 表示できる期間は最大で過去25ヶ月分です。
  例）2024年5月であれば2024年5月～2022年5月までの実績を表示できます。
- 以下の項目を表示します。
  - 月毎の消費電力量
  - 月毎の買電電力量
  - 月毎の売電電力量
  - 月毎の車両蓄電池放電量
  - 月毎の車両蓄電池充電量





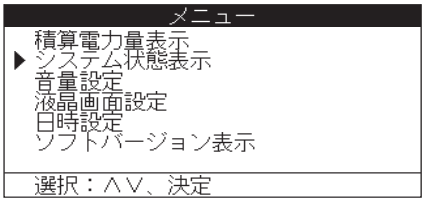
システムの状態を見る

■ システムの状態を見たい場合

1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

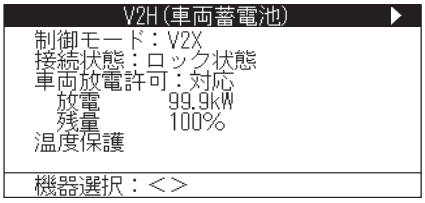
● メニュー画面が表示されます。

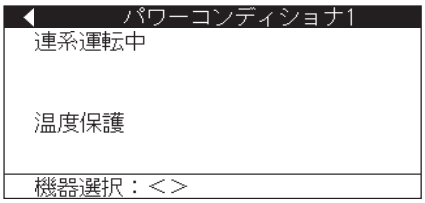
2 ［操作（∧∨）］ボタンで
「システム状態表示」を選択し、［決定］ボタンを押す。



3 システムの状態を確認する。

［操作（<>）］ボタンで表示したいV2H（車両蓄電池）やパワーコンディショナを選択してください。





● 以下の項目を表示します。

画面	項目	表示内容（表示なし、もしくは下記のいずれか）
V2H（車両蓄電池）	制御モード	“待機”、“充電”、“V2X”、“未接続”
	接続状態	“ロック状態”、“解除状態”
	車両放電許可	“対応”、“非対応”
	充電／放電	V2Hユニットの充電／放電電力を表示
	残量	車両蓄電池の残量を表示
	運転状態補助表示	“温度保護”
パワーコンディショナ	V2Hユニットの運転状態	“連系準備中”、“連系運転中”、“自立準備中”、“自立運転中”、“手動停止中”、“要点検”
	運転状態補助表示	“温度保護”

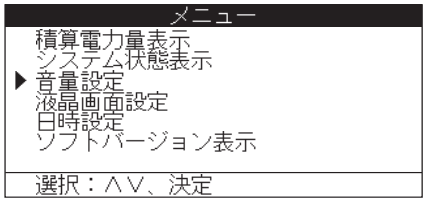
設定

［1］音量を設定する

1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

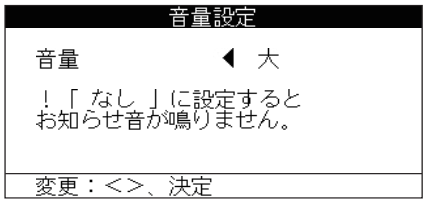
- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「音量設定」を選択し、［決定］ボタンを押す。



3 音量を設定する。

- ［操作（<>）］ボタンを押して、音量を変更する。
  音量を変更すると、「この音量に設定します」という音声が該当の音量で再生されます。
- 音量は下記から選択可能です。
  「なし」、「小」、「中」、「大」



ご注意

- 音量を「なし」に変更して［決定］ボタンを押すと、再度音量変更をするまで音声案内は再生されません。
- 就寝時など、一時的に音声案内を再生しないようにするには、おやすみ機能（23ページ）をご利用ください。

4 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

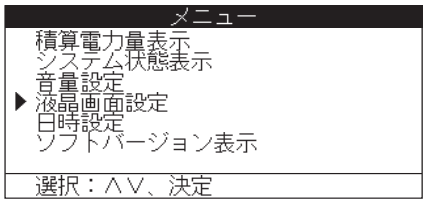
- 音量が反映され、メニュー画面に戻ります。

［2］液晶画面を設定する

1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

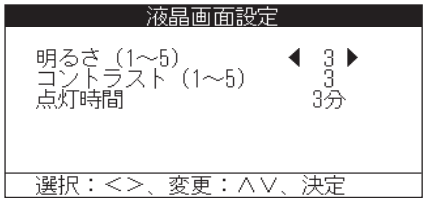
- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「液晶画面設定」を選択し、［決定］ボタンを押す。



3 明るさ、コントラスト、点灯時間を選択する。

- ［操作（<>）］ボタンを押して、値を変更する。
- ［操作（∧∨）］ボタンを押して、次の項目に移動させる。
  - 明るさは「1～5」から選択可能です。
  - コントラストは「1～5」から選択可能です。
  - 点灯時間は下記から選択可能です。
    「3分」、「5分」、「10分」、「15分」、「30分」、「60分」



4 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

- 明るさ、コントラスト、点灯時間が反映され、メニュー画面に戻ります。

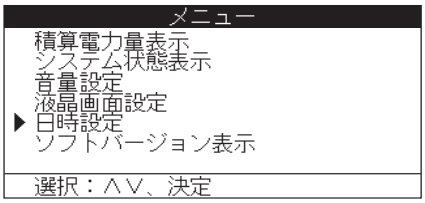
[3] 日時を設定する

ご注意
- インターネットに接続して運用している場合は、日時設定をする必要はありません。
- 日時は施工時に設定されます。
- 日時の設定時に誤って一度未来の日時を設定すると、現在の日時に戻しても一度設定した未来の日時を過ぎるまで、履歴データが記録されません。この場合履歴データ等を初期化する必要がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

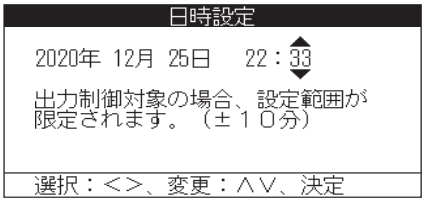
- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「日時設定」を選択し、［決定］ボタンを押す。



3 日時を変更する。

- ［操作（∧∨）］ボタンを押すと、一つずつ数字が変化します。
  ［操作（∧∨）］ボタン長押しで、連続して数字が変化します。
- ［操作（<>）］ボタンを押して、次の項目に移動します。
  （日時を確認するだけの場合は、ここで［メニュー／戻る］ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。）



※V2Hユニットは出力制御対象ではありませんが、上記文言は表示されます。

4 日時を入力したら、画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

- 「設定完了」と表示されると日時が変更されます。
  その後メニュー画面に戻ります。（正しく変更されているか、再度上記2の操作を行い確認してください）

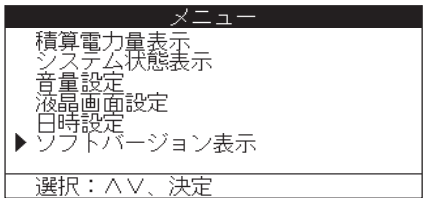
ご注意
- V2Hユニットからの応答時間が長くなると、「設定できません」と表示されます。
  設定できているか確認いただき、反映されていないときは再度設定することをお試しください。
- 設定禁止値がある状態で［決定］ボタンを押すと、「設定できません」と表示されます。
- 出力制御対象の場合、設定範囲が±10分に限定されます。
  この場合、「設定完了」と表示されますが反映されません。

［4］ソフトバージョンを表示する

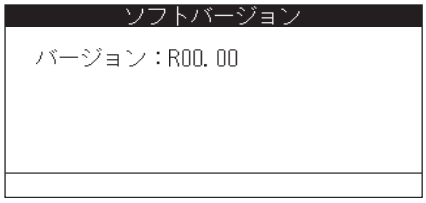
1 ホーム画面で［メニュー／戻る］ボタンを押す。

- メニュー画面が表示されます。

2 ［操作（∧∨）］ボタンで「ソフトバージョン表示」を選択し、［決定］ボタンを押す。



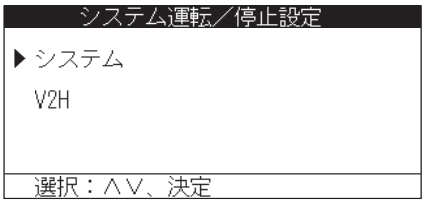
3 画面の内容を確認し、［メニュー／戻る］ボタンを押す。



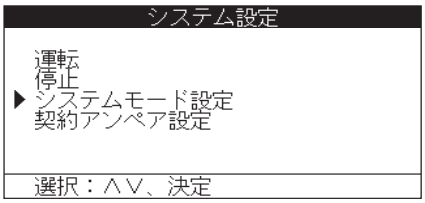
［5］システムモードを設定する

1 ［運転／停止］ボタンを押す。

2 「システム運転／停止設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「システム」を選択し、［決定］ボタンを押す。

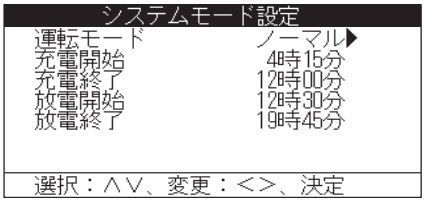


3 「システム設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「システムモード設定」を選択し、［決定］ボタンを押す。



4 「システムモード設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで項目を選択し、
［操作（<>）］ボタンで値を変更する。

- 運転モードは下記の設定が可能です。
  「ノーマル」、「節エネ」、「スマート」「インテリジェント(AI)」、「蓄電」
- V2Hユニットの充電の開始／終了または、放電の開始／終了時間は、
  ［操作（<>）］ボタンを押すと「0時00分～23時55分」の間で
  5分毎に変化します。
  ［操作（<>）］ボタン長押しで連続して15分ずつ値が変化します。



5 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

- 「設定完了」と表示されるとシステムモードが反映されます。その後システム設定画面に戻ります。

各モードの設定項目

モード	充電／放電時間
ノーマル	○
節エネ	×
スマート	充電○／放電×
インテリジェント(AI) ※	×
蓄電	×

○：システムモード設定画面に表示される
×：システムモード設定画面に表示されない

※：enenowaサービスに加入していない方はご使用できません。

ご注意

充電時間帯と放電時間帯が開始／終了時刻を超えて重なっている場合など、時刻の設定禁止値がある状態で［決定］ボタンを押すと、「設定できません」と表示されます。

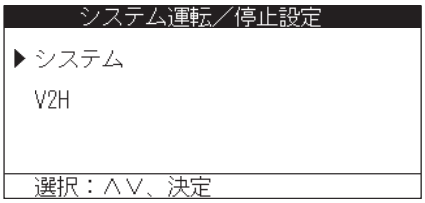
時間設定上の注意点
充電開始時間、充電終了時間は割安な電気料金の時間帯に合わせてください。

［6］契約アンペアを設定する

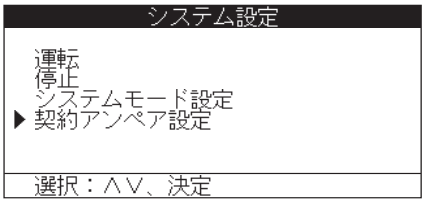
1 ［運転／停止］ボタンを押す。

- システム運転／停止設定画面が表示されます。

2 「システム運転／停止設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「システム」を選択し、
［決定］ボタンを押す。



3 「システム設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「契約アンペア設定」を選択し、
［決定］ボタンを押す。



4 ［操作（∧∨）］ボタンで項目を選択し、
［操作（<>）］ボタンで値を変更する。



- 「契約アンペア」機能は、契約ブレーカ等による電力の遮断が起きないように、充電電力を制御します。
- 「契約アンペア」は“制限なし”、“40A”、“50A”、“60A”、“6kVA”、“7kVA”、“8kVA”、“9kVA”、“10kVA”、“11kVA”、“12kVA”、“13kVA”、“14kVA”、“15kVA”から設定が可能です。
- 「余裕度」は0%～50%で設定可能であり、設定できる最小単位は1%です。（通常は設定を変更する必要はありません）
- 「最大充電電力」設定は放電非対応車両にのみ有効な設定となり、充電モードにしたときの最大充電電力を設定するものです。
- 「最大充電電力」は0.5kW～5.0kWで設定可能であり、設定できる最小単位は0.1kW単位です。

ご注意

- 契約ブレーカの一次側に接続機器がある場合、総容量の値を設定してください。
- 「 制限なし」に設定した場合、A契約またはkVA契約による充電電力の制限は行いません。
  一般負荷電力と車両への充電電力(5.5kW)が契約ブレーカの容量を超えない事を確認してください。
  契約ブレーカ容量を超える場合はブレーカが落ちる可能性があります。

5 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

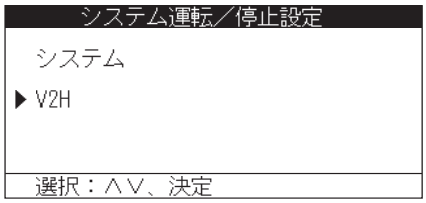
- 「設定完了」と表示されると契約アンペア設定が反映されます。
- その後システム設定画面に戻ります。

[7] V2Hを設定する

1 ［運転／停止］ボタンを押す。

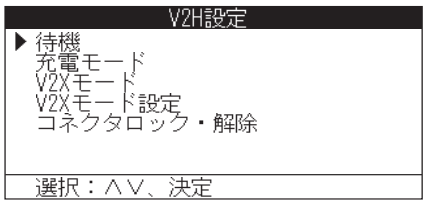
● システム運転／停止設定画面が表示されます。

2 「システム運転／停止設定」画面で、［操作（∧∨）］ボタンで「V2H」を選択し、［決定］ボタンを押す。



3 ［操作（∧∨）］ボタンで項目を選択する。

※



※ 表示項目は条件により変化します。（18ページ）

- 「待機」はV2Hユニットを待機状態にします。
- 「充電モード」は車両が満充電になるまで設定した電力で充電を行うモードです。
- 「V2Xモード」は車両を蓄電池として利用するモードです。
- 「V2Xモード設定」はV2Xモード内で使用する内容を設定します。
- 「コネクタロック・解除」はV2Hユニットのコネクタロック・ロック解除を切り替えます。

4 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

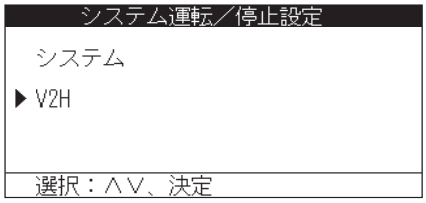
- 「設定を受け付けました」と表示されます。
- その後システム運転／停止設定画面に戻ります。
  V2H設定が反映されているか、ホーム画面やシステム状態表示画面でご確認ください。
  （※V2Hユニットの状態によっては「設定を受け付けました」と表示されても、設定が反映されない場合があります）

[8] V2Xモードを設定する

1 ［運転／停止］ボタンを押す。

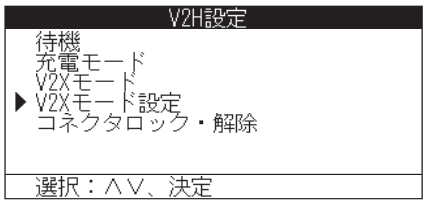
- システム運転／停止設定画面が表示されます。

2 「システム運転／停止設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「V2H」を選択し、
［決定］ボタンを押す。



3 「V2H設定」画面で、
［操作（∧∨）］ボタンで「V2Xモード設定」を選択し、
［決定］ボタンを押す。

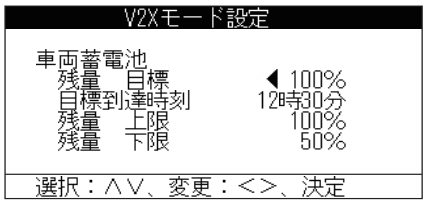
※



※ 表示項目は条件により変化します。（18ページ）

4 ［操作（∧∨）］ボタンで項目を選択し、
［操作（<>）］ボタンで値を変更する。

- 車両利用のため『何時に』『残量何%以上』にしておいて欲しいかを「目標到達時刻」と「残量　目標」で設定できます。
- 「残量　目標」は“常に蓄電池“または、5%～100%で設定可能であり、設定できる最小単位は5%です。"常に蓄電池"とした場合上記動作は行わず、常に車両を蓄電池として利用します。
- 「目標到達時刻」は0時00分～23時55分で設定可能で、設定できる時間の最小単位は5分です。
- 「残量　上限」は車両を蓄電池として利用する場合の充電上限値を設定します。
  5%～100%で設定可能で、設定できる最小単位は5%です。
- 「残量　下限」は車両を蓄電池として利用する場合の放電下限値を設定します。
  0%～95%で設定可能で、設定できる最小単位は5%です。



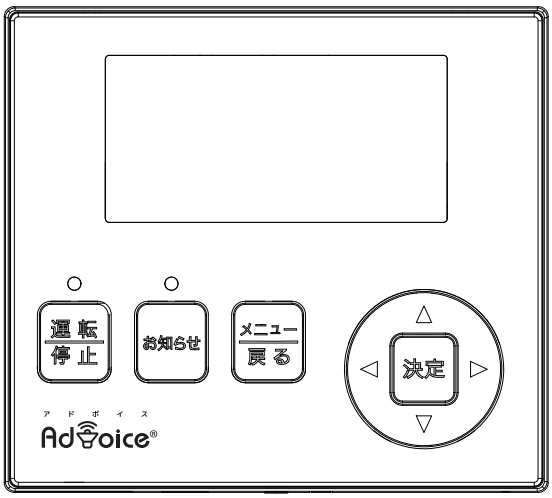
5 画面の内容を確認し、［決定］ボタンを押す。

- 「設定完了」と表示されるとV2Xモード設定が反映されます。
- その後V2H設定画面に戻ります。

こんなときは

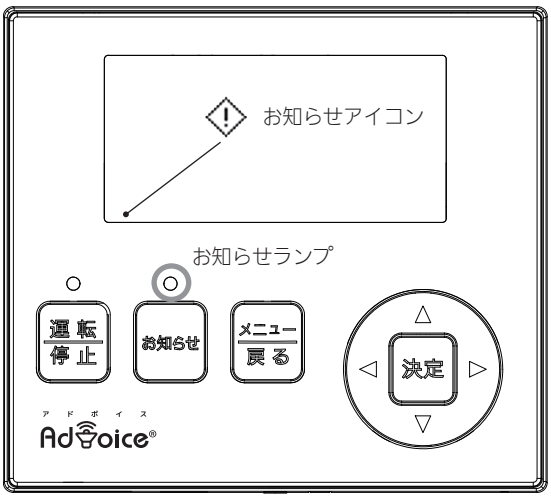
■ お知らせがあるとき

1 本体より音声の案内が流れます。
（音声の案内がなく、2から始まるものもあります）



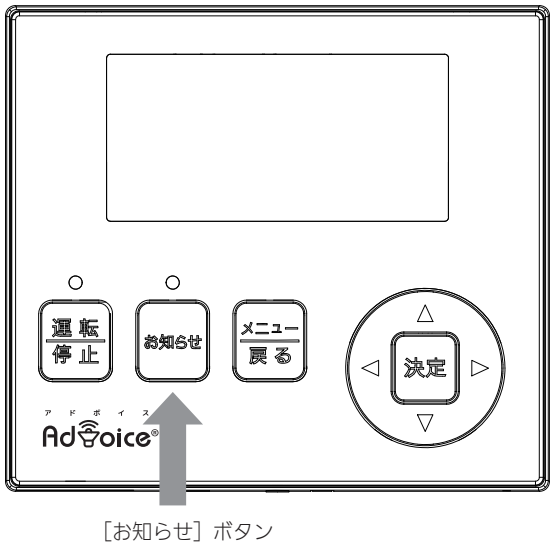
「ピンポンパンポーン」という音の後に音声案内をします。

2 ［お知らせ］ランプ（赤色）が点灯もしくは点滅し、モニタにお知らせアイコンが表示されます。



［お知らせ］ランプ点滅：未読メッセージあり
［お知らせ］ランプ点灯：メッセージが全て既読

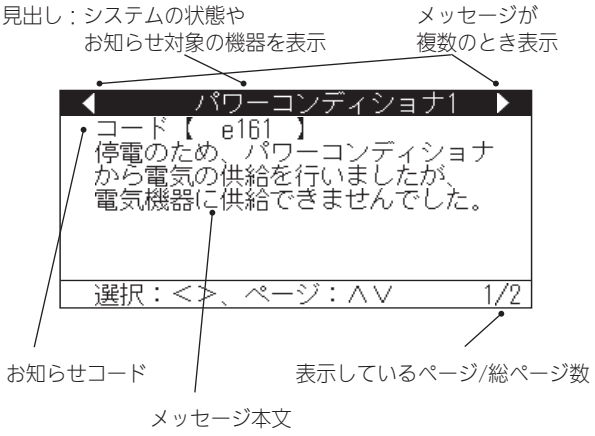
3 ［お知らせ］ボタンを押す。
音声の案内が止まり、お知らせメッセージが表示されます。※



［お知らせ］ボタン

※音声案内が止まった後、未読メッセージに音声案内がある場合、ホーム画面に戻って3分後に音声案内をします。5回繰り返し音声案内します。

4 ［操作（<>）］ボタンや［操作（∧∨）］ボタンを押してメッセージを確認する。
記載されている内容に従って対処してください。



［操作（<>）］ボタン：
　複数メッセージの中で表示するものを選ぶ
［操作（∧∨）］ボタン：
　1ページを超える場合、表示ページを選ぶ

次のページ以降の内容をご確認の上、対処方法をお試しください。

確認の結果、異常がある場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

音声案内	メッセージ見出し	メッセージ本文（対処方法）	お知らせコード	備考
あり	蓄電池残量（めやす）	現在の車両蓄電池の残量はAA%（注1）です。	—	—
あり	停電：車両蓄電池残量小	車両側で設定されている蓄電池の使用範囲は上限AAA%（注2）、下限BB%（注3）です。まもなくV2Hからの電気の供給を停止します。停電から復帰するか、発電している場合は、電気製品への電気供給が可能です。タイマーで自動稼動する電気製品は、平常通りタイマー稼動が必要かご確認の上、不要な場合は電源を切ってください。 例）エコキュート/電気温水器、エアコン、電気床暖房、食洗機/洗濯乾燥機など。	—	—
あり	停電：自立過負荷	コード【ｘｘｘｘ】停電のため、パワーコンディショナから電気の供給を行いましたが、現在の電気使用量が大きくパワーコンディショナの能力を超えたため、電気の供給が止まりました。電気使用量を下げるため、使用する電気製品を限定してください。タイマーで自動稼動する電気製品は、平常通りタイマー稼動が必要かご確認の上、不要な場合は電源を切ってください。 例）エコキュート/電気温水器、エアコン、電気床暖房、食洗機/洗濯乾燥機など。	・xxxxに入るのは次のコード。 e192,e291,e299	—
—				
—	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】停電のため、パワーコンディショナから電気の供給を行いましたが、電気機器に供給できませんでした。使用する電気製品を限定してください。停電時以外の場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。（注4）	・xxxxに入るのは次のコード。 e161	—
—	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】停電時以外は自立運転用コンセントに電気機器を接続しないでください。自立運転用コンセントを使用していない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e298	—
あり	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 E641,E643,T611,T621,T622,T641,T642,T651	—
—	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5分が経過しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e151,e191,e281,e571,e621	—
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E151,E281,E621	—
—	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】商用電源の異常を検知しました。5分が経過しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e211,e221,e231	—
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E211,E221,E231	—
あり	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】しばらく経っても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 T631	—

音声案内	メッセージ見出し	メッセージ本文（対処方法）	お知らせコード	備考
―	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】パワーコンディショナの温度範囲が運転範囲外です。周囲の確認をお願いします。対処しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e411,e421,e426	―
あり			・xxxxに入るのは次のコード。 E411,E421,E426,	―
―	パワーコンディショナ1	コード【ｘｘｘｘ】商用電源の異常を検知しました。 正常に戻ってから約5分で運転します。運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 g111,g116,g121, g141,g311,g316, g321,g322,g331	―
―	表示ユニット	コード【ｘｘｘｘ】表示ユニットが正常に動作していません。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 ZD02,ZD03	―
―	通信	コード【ｘｘｘｘ】パワーコンディショナと通信できません。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 Z521,ZD01	―
―	インテリジェントモード	コード【ｘｘｘｘ】インターネット環境をご確認ください。 (注5)	・xxxxに入るのは次のコード。 A611	―
―	ACC内部異常	コード【ｘｘｘｘ】通信制御ユニットの異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 A111	―
―	時刻設定	コード【ｘｘｘｘ】時刻を設定してください。	・xxxxに入るのは次のコード。 e731	―
―	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2Hの温度範囲が運転範囲外です。 周囲の確認をお願いします。対処した後に、V2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p416,p426,p436, p446,p456	―

注1：AAに入るのは【メッセージを表示させた時の車両蓄電池残量(1%刻み)】です。
注2：AAAに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の上限（1%刻み）
注3：BBに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の下限（1%刻み）
注4：自立運転中に特定の電気波形（半波整流）を有する機器（ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペットなどの一部の機器）を使用すると一時的に運転が停止する場合があります。その場合は該当機器を使用しないでください。
注5：・「enenowaサービス」にご加入の方
インテリジェントモードに設定しているときにサーバとの通信が途絶し、充放電スケジュールの取得に失敗しました。V2HユニットからのLANケーブルを抜き差しして、住宅内のルーターの再起動を行ってください。
・「enenowaサービス」にご加入されてない方
インテリジェントモード以外のシステムモードを設定してください。

音声案内	メッセージ見出し	メッセージ本文（対処方法）	お知らせコード	備考
―	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2H内部の異常を検知しました。しばらく経ってからV2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p112,p116,p121, p122,p126,p131, p136,p141,p146, p151,p156,p161, p166,p171,p191, p216,p226,p236, p241,p246,p251, p256,p266,p411, p516,p521,p626, p636,p646,p651, p656,p666,p676, p686,p696,p731, p761,p771,p772, p781,p791,v711	―
あり	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2H内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 P122,P176,P186, P211,P221,P231, P612,P613,P616, P621,P622,P631, P632,P641,P642, P651,P681,P691, P716	―
―	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2H非対応車両に対してV2Hモードが選択されています。V2H対応車両を接続するか、充電モードをご選択ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p751	―
あり	車両シフト位置変更	コード【ｘｘｘｘ】車両シフト位置が変更されました。V2Hの運転を停止します。（注4）	・xxxxに入るのは次のコード。 v611	―
あり	車両異常	コード【ｘｘｘｘ】車両異常が検出されました。車両に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p181,v111,v121, v411	―
―	緊急停止	コード【ｘｘｘｘ】V2Hの緊急停止ボタンが押されました。周囲の安全を確認してください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p711	―
―	ボタン故障	コード【ｘｘｘｘ】V2H操作ボタンの異常が検出されました。しばらく経ってからV2H本体の待機ボタンを長押ししてください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p611	―
―	車両蓄電池残量設定不整合	車両蓄電池の残量上下限設定が車両側で設定されている蓄電池の使用範囲外です。車両側で設定されている蓄電池の使用範囲は、上限AAA%（注1）、下限BB%（注2）です。必要に応じてV2Xモードの設定を調整してください。	―	―
―	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2Hの運転を停止します。（注3）	・xxxxに入るのは次のコード。 p511	―

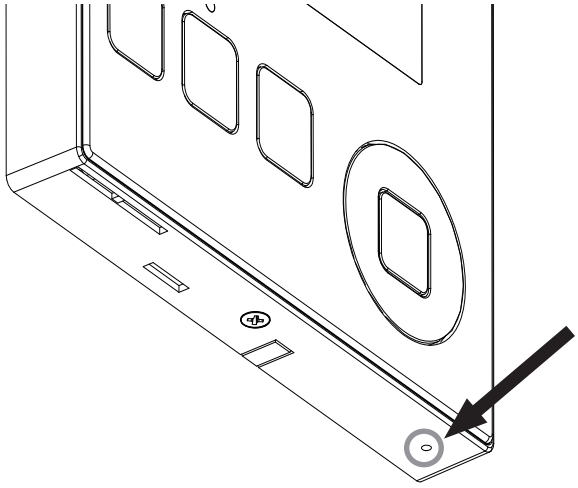
音声案内	メッセージ 見出し	メッセージ本文 （対処方法）	お知らせ コード	備考
ー	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2H内部の異常を検知しました。 しばらく経っても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 p531,p541,p732	ー
ー	V2H	コード【ｘｘｘｘ】V2H非対応車両に対してV2Hモードが選択されています。V2Hの運転を停止します。（注5）	・xxxxに入るのは次のコード。 p721,p743	ー
あり	車両異常	コード【ｘｘｘｘ】車両異常が検出されました。車両に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。 V2H内部の異常を検知しました。お問い合わせ窓口へご連絡ください。	・xxxxに入るのは次のコード。 v131,v211,v221	ー

注1：AAAに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の上限（1%刻み）
注2：BBに入るのは次のメッセージ。車両蓄電池の使用範囲の下限（1%刻み）
注3：V2Hユニットと車両との接続をご確認ください。
注4：車両のシフトポジションをP（パーキング）にしているかご確認ください。
注5：V2Hユニットの対応車種をご確認ください。
https://www.enetelus.jp/eibsv/v2h/compatible_vehicle.html

■ホーム画面表示の補足説明

各メニュー画面からホーム画面を表示させるには、「メニュー／戻る」ボタンを複数回押してください。

正しく表示されないときのご対応について



・V2Hユニット起動後に、30分経過してもホワイトアウトしたまま変わらない、または表示されている数値が変化しないとき。

・運転／停止設定画面で「運転」もしくは「停止」を設定すると毎回「設定できません」と表示されるとき。
（ホーム画面、パワーコンディショナ状態表示で確認すると実際には設定できている）
以下のことをお試しください。
先の細いピンを音声モニタの底面右側にある小さな穴にまっすぐ入れてリセットボタンを長押ししてください。
音声モニタが再起動します。
（V2Hユニットは再起動しません）
このリセット操作で音声モニタやV2Hユニットのデータは消えません。

仕様

■ 音声モニタ

型名		ZDIS-35ENBV01
基本データ	設置場所	屋内専用
	液晶画面	3.5インチモノクロ
	使用環境温度範囲	−10〜+40℃
	寸法 （幅×高さ×奥行き）	139.5X124.5X19.0mm
	質量	220g（本体） 320g（取付金具含む）
	定格電圧※	DC15V
	定格電力※	1W

※電源はV2Hユニットから供給されます。

本紙および同梱の取付工事説明書・取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
最新版は当社ホームページからご覧になれます。
当社カタログダウンロードページ：https://www.enetelus.jp/download.html

MEMO

MEMO

ダイヤゼブラ電機株式会社
〒532-0026　大阪市淀川区塚本 1 丁目 15 番 27 号

DOC01-ZDIS35V2H-CC